

京都大学人環・総人図書館報

かりん

Kyoto University Jinkan-Soujin Library Bulletin



創刊号
(No.1)

2008

声	02
論文・レポートを書くために	04
自著を語る	08
所蔵資料紹介	11
投稿：日本人の中国語勉強に関する小考（続）.....	15
寄贈図書	21
情報収集のコツ：日本語文献を探すデータベース.....	25
図書館の活動	29

「かりん」の由来

本誌名「かりん」は、図書館前の樹木、カリンにちなんでいます。

カリン (Chinese quince) は中国原産のバラ科の落葉高木です。

4～5月に淡紅色の可憐な花が咲き、10～11月頃には黄色く熟した円形の実が生ります。

実は香りがよく、薬効成分「カリンポリフェノール」がのどの炎症に効くため、のど飴でも知られています。

新しく生まれ変わった図書館報が、香り高いカリンのように、内容豊かで、

世代や分野を問わず幅広く多くの方々に愛されるように、

また、利用者の学習や研究成果に結実できるようにという

願いをこめて「かりん」と名づけられました。

● 目次

巻頭言

- 01 — 図書館の愉楽 内田 賢徳

声

- 02 — 図書館の魅力 藪田 有紀子
03 — 居場所 佐野 太南

論文・レポートを書くために

- 04 — 私の実践的論文作法 奥田 敏広
05 — 文系世界の経験から 水野 眞理
06 — 化学系の論文を書くには(Q&A) 田部 勢津久

自著を語る

- 08 — 『メタボにならない脳の作り方』 森谷 敏夫
09 — 『イザベラ・バード 極東の旅1・2』 金坂 清則
10 — 『火山噴火 - 予知と減災を考える』 鎌田 浩毅

所蔵資料紹介

- 11 — 日本重要水産動植物図と田中芳男 松田 清

投稿

- 15 — 日本人の中国語勉強に関する小考(続) -補語を中心に- 劉 志偉

21 — 寄贈図書

24 — 大型コレクション・特別図書

25 — 情報収集のコツ (日本語文献を探すデータベース -CiNii特集-)

29 — 図書館の活動 (環on, 人環・総人図書館の一年間, 貸出回数ランキング, 図書館統計, 学術情報リポジトリ)

図書館の愉楽

人間・環境学研究科 図書委員長

内田 賢徳

UCHIDA Masanori

薄明りの中、背表紙の文字を追って、目指す書物に行き当たる。

ラベルの記号と数字を頼りに捜すことは少ない。分類記号は書物の記号ではなく、或る位置を指示する。従って、目指す書物がなくてもその座標上の位置のみは存在する。時折、記号の指す位置はあっても、書物が見当たらずに困惑することがある。

自宅に膨大な蔵書をお持ちの先生があった。だが自宅の書庫は、ここからどうしてあの精緻な研究が生まれるのか不思議に思えるほど乱雑で、時折教え子の誰かが整理に伺っていた。先生が逝去された後、蔵書はゆかりの大学図書館に寄贈され、文庫コーナーができた。そこを訪ねたことがある。かつての本の山は、整理の行き届いた書棚に小さく収まっていた。閲覧を終えた本を、ロボットが定期的に集めて回る、未来の図書館である。その一角に先生の蔵書は静かに、眠るように収まっていた。私はいささか拍子抜けして、寂しさを感じた。それと同時に、あの乱雑と見えた書物の、言わばせめぎ合いこそが、精緻な文献学者としての先生の知の根柢をなした一つの秩序であったかと、改めて思い知らされた。書物は一つの活動を終え、今別の新たな活動のために、冬眠しているのである。

分類記号とは、或る書物のその鎮^{しず}もりに聖なる位置を提供するのであり、それは分類そのこと以外のどんな知がそれを専有することも許さない仕組みである。整理・配架とは、著者の知をも祓い清めて聖なる位置に収める一つの祭式である。蔵書印は厳粛に押され、ラベルは美しく貼られる。慣れた取り出し方は、必要なことが果たされる、ただそれだけのことで、少なくとも新しい出会いをしたとは言えない。しかし、記号を頼りに辿り着いた書物の近傍には、別の書物が眠っている。それを手に取ることで、当初の目論見が変わり、新しい知への予感が生まれる。即ちそこで私は或る愉楽を経験する。

遙かな古代、文字は乾燥した粘土板に残された。多く王墓に見出されるのは、古代中国の甲骨文に似る。諸記録としてのそれら、そして年代記すら王自身に属していたのであろう。図書館の歴史は、文書が王自身から離れるところに始まることになる。秦の始皇帝のいわゆる焚書は、時代を越えて残る文献とその知が、自らに属さな

いことへのいらだちに発していたのではなかったか。自己の永遠を求めることとは歴史を拒否することである。漢の武帝が、文献を写させ秘府に収蔵した(漢書芸文志)のは、諸書が自己を越えて歴史に資することを期すゆえの大業であっただろう。天子は歴史上に君臨することになる。

紙と印刷技術が相俟^{あい}つ時代を経て、書物はものとしての質感を薄めて来た。活版印刷から写真植字へという、近年の小さな“進歩”を経験した折に、或る鋭敏な読者は、活版の僅かなくばみが光に当ってなす淡い影が失われたことを嘆いた。書物がものとしての質感を薄くする果てに、今それは液晶画面に写る像となりつつある。検索した情報は、直ちに画面表示される。しかし効率を得た見返りに、そのことの中でかつての知の主体が、端末に成り下った己れを顧みることはない。眠る書物を手にして、その手触りの中に新しい知を予感し、高まりを覚える、この愉楽を失った貧しさを思うべきであろう。

かくて、私は安んじて分類記号の指し示す位置に赴き、愉楽への予感を抱き、

一薄明りの中、背表紙の文字を追って、目指す書物に行き当たる。

(大学院人間・環境学研究科 教授、歴史文化社会論講座)



1F カウンター前

図書館の魅力

藪田 有紀子

YABUTA Yukiko

なぜか昔から、図書館が苦手でした。大学に入学したばかりの頃、附属図書館の窓の中に、夥しい量の本と、ずらっと並んだ机を眺めて感じた、好奇心と疎外感の入り混じった気持ち。「ここにはどんなすごい本があるんだろう?中の人たちはどんなすごい勉強をしているんだろう?」その感覚は薄れたとはいえないまだに消えずに、用が済んだらそそくさと退散してしまい、自習机で勉強するなんてとんでもないというような、情けない院生をしています。

それでも通ううちに、だんだんと図書館の面白さに気付くようになりました。街の本屋では絶対にない量の本を一度に見渡すことができるのです。インターネットで「中身検索!」などという機能もありますが、やはり本は自分でめくり、文章を読んで初めて良し悪しがわかるもの。時には読み終わっても気に入ってしまい、自分のものにしたいから買ってしまう、という本に出会うこともあります。

それから、用事がないと入りにくい書庫。最近ではあまり読まれることもないのだろうな、という古い本の列を眺めるだけで、文学や政治などのテーマの移り変わりをなんとなく感じることができます。ずっと以前に、自分と同じような関心を持っていた著者がいたと気付くことも。それに多分、古い古い雑誌や新聞を目にして、興奮しない人はい

ないでしょう。図書館はどうも落ち着かないと思っていても、書庫に入れば毎回、「次はもっとゆっくり、色々見て回ろう。」と決心して出てきます。(といってその「次」はだいたい先になってしまうのですが。)この点、人環・総人図書館の書庫は、大部分が自動書架ではなく、好きだけ歩き回って本を探すことができるところが気に入っています。

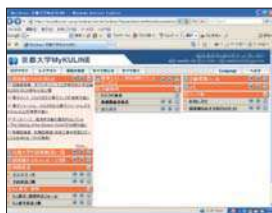
もっと上手に、もっと深く利用するように、図書館のほうから言われてしまいそうな私ですが、図書館に期待することは三つ。実際に手にとることができる本や資料が、まとまった場所にたくさんあること、静かであること、マナーが守られていること。後半の二つは自分含め利用者の側の話です。図書館の中でものを食べたり、机に足を投げ出したりするような驚くべき利用者也増えているような気がして、特に気になる場所です。図書館が提供してくれるものにふさわしいマナーを持った利用者にならないといけな、と(延滞中の本がなかったか不安を感じながら)思いつつ、利用者の「声」の筆をおかせていただきます。

(大学院人間・環境学研究科 博士後期課程3回生)

情報収集ワンポイント!

Q.MyKULINEでできることは?

- ・「京都大学蔵書検索KULINE」も同じ画面から検索
- ・**貸出状況**の確認、貸出期間の**更新**
- ・**予約状況**の確認と予約解除
- ・ILL(学外からの**文献複写の取り寄せ**や**図書借用**)の申込、進捗確認、キャンセル
- ・図書館からのニュース、メッセージ、新着資料の情報の取得
- ・**メモ**の書き込みや保存
- ・インターネット・サイトの**リンク集の作成**・保存



貸出中の図書の**予約**はKULINEから。各図書館・室で対応していない場合もあります。利用のためには「オンラインサービス」の利用手続きが必要な場合があります。詳細は http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/service/index.php?content_id=18



1F 閲覧席(70席)



2F 閲覧席(280席)

居場所

佐野 太南

S A N O Takayoshi

僕はこの人環・総人図書館の職員さんたちから「ヘビーユーザー」と呼ばれている。学部4年、院3年の大半の時間をこの図書館で過ごした。ここは僕の「居場所」だった。

大学に入る前に心を閉ざした僕は、勉強を言い訳に、外界を遮断した。学部時代4年間に僕がまともに接したのは学内で4、5人ってところだった。この図書館の窓際のブース席の、端の席にこもり、勉強した。勉強に疲れると本棚の間をさまよい、ジャンルを問わず本を読んだ。この大学の学祭・NF(November Festival)の間は、周囲が賑やかな中で、図書館の中で静かに過ごし、そのギャップの中で自分自身の存在を確認していた。

心が弛緩し、自分自身を変えなければどこかで焦りつつも、将来の目標もないまま、今の公共政策大学院へ進学した。院1年の1月に公務員という目標がやっと出来た。しかし、最初に受けた公務員試験は人事院面接E判定で落ちた。宇宙人しかとらないと言われるE判定、ExtraterrestrialsのEである。5年間、この図書館で勉強した思い出しかない僕は、面接で、高校時代の思い出を語っていた。

自分自身を変えるため、僕はこの図書館から外に出

た。アルバイト、官公庁へのインターンシップ、他大学の学園祭の協力、政策勉強会のサークル、民間就活、院内の野球サークルの立ち上げなど、ひたすら人と接する機会を増やし、なかば強制的に心を開放していった。他の院生とコミュニケーションをとるため、勉強する場所も院の自習室へと引っ越しを行った。この図書館に来る回数も、この図書館で過ごす時間も激減した。しかし、不思議なもので、この図書館の職員さんたちと仲良くなったのは、この頃からだった。

院を留年して受けた二度目の公務員試験、合格発表は人環・総人図書館2階のパソコンで見た。人事院面接はC判定、僕はやっと地球に舞い戻ってきた。官庁訪問を経て、ジャンルを問わない業務を担っている省より内々定をもらう。この図書館の職員さんたちが僕の就職を喜んでくれたのは嬉しかった。

ただ、自分の将来が定まり、自分自身多少は嬉しいはずなのに、京都から、そして、この図書館から離れることが寂しいと思える。それぐらい、ここは僕の「居場所」だった。この場所に出会えたことに、僕は感謝している。

(大学院公共政策教育部 専門職学位課程2年)

情報収集ワンポイント!

Q.京大生の自学自習を支援するポータルサイトとは?

京都大学情報環境機構では2008年10月から、京都大学生の皆さんの自学自習を支援する「**全学生共通ポータル**」の提供を開始しました。

ポータルに一度ログインすれば、**MyKULINE**等の3つのサービスがログイン操作なしで利用可能になります(シングルサインオン)。

- (1) KULASIS (履修登録などのために)
- (2) **MyKULINE** (図書・文献検索のために)
- (3) DEEP Mail (レポート提出や問い合わせのために)



図書館機構の**MyKULINE**も教育用システム利用コード(ECS-ID)で利用できます。

詳細は情報環境機構のページをご覧ください。

<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/whatsnew/news/detail/02183.html>



1F ブース席



2F OSL
(Open Space Laboratory 28台)

私の実践的論文作法

奥田 敏広

OKUDA Toshihiro

1 タイトルの重要性

本を出版する時、受け入れられやすいように「ナチズム」という言葉を入れてほしいと編集者から言われたことがあります。そのような二次的な意味とはまったく別に、タイトルは非常に大切です。

たとえば、論文題目を提出する際になるべく無難なもの、たとえば私の専門でなら、扱う作家とその作品（あるいはその片方）を出しておけばいいよ、とアドバイスされる指導教員もおられるかと思います。しかし、それではせっかく論文に取りかかる絶好の機会を無駄にすることになります。この機会を利用して、その時点での内容にできるだけ踏み込み、テーマを適切に表すタイトルを考えてください。そのために副題を活用するのもお勧めです。ただし、それはあくまでその時点のもので、**タイトルは論文を書いていくにつれて変化していいし、むしろ変化するべきです。**というのも、いくら周到に準備していても、論文のテーマは、実際書いていくにつれて変化する、というか、より焦点の定まったものになっていくものだからです。また、当初とは逆の展開をすることもあります。しかしそこにまた、論文を書くことの意味もあるわけです。その際、タイトルについて絶えず意識し、躊躇せず変えていくことは、**論文のテーマそのものについて絶えず意識し、それを絞り込んでいく上で、大きな助けとなるでしょう。**

2 レトリック

ところで、実際に論文の文章を書いていく上で、絶えず意識して使いこなすと、きわめて重宝なレトリックがあります。それは、皆さんにも英文解釈などでお馴染みのあの **certainly A, but B** の構文のことです。つまり、その場合、筆者の言いたいことはBにあります。それをBだけ言わずに、それに対する留保なり異議なりを並列させて書くということです。もちろん、これは意識しなくても、誰しもある程度使っているレトリックです。ただ、これを文単位のみならず、もっと広く、段落や章単位、場合によっては論文全体についても、しかも意識的に使おう、というのが私の言いたいことです。

つまり、最初まずBだけ頭に浮かんだ場合にも、あえてAを書こうと試みるのです。**急がば回れ**です。するとBにはこんな反論も考えられるだろうとか、このような留保が

必要だとか、いろいろ思考が膨らんでいくはず。また、それらが思い浮かばなくても、たとえば当該の先行研究や研究史もAになります。それらの文献を読んでみることで。このようにして、文章と論旨を展開していくと、テーマが絞られていき、論文に深さと幅がでてきます。読者は、そんなところまで考えているのか、という印象を受けると同時に、Bの特徴がよりよく分かるようになり、説得力もでてきます。

その際、Aをどれだけ受け入れやすいように書くことができるかが、ポイントです。結論のBの説得力は、それ自身の内容よりもむしろAに依存しているといっても過言ではないでしょう。

3 手作り

最後に、日頃皆さんの論文なりレポートなりを読んでいて、よくひっかかるというか困ることを一言。それは、**どこまでが調べたことであり、どこからが、それらを踏まえて皆さん自身が考えた独自の内容か**がよく分からないことが多いことです。

上記2で、結論だけが必ずしも重要ではないと言いましたが、とはいえ、せつかくある程度まとまったものを書くのなら、やはりどんなに小さなことでもいいから、皆さん自身の見方や考えを、私は期待しています。しかし、近頃ではホームページをコピーアンドペーストしたものに毛の生えたようなレポートさえあります（それを見つけるソフトもあるそうです）。たとえばまた、資本主義社会が必然的に生み出すさまざまな規格品の陳腐さを揶揄する文章自体が、**受け売りのステレオタイプ**なことがよくあります。ちなみに、私が体験したドイツの大学生のゼミでは、なるほど活発な議論が展開されますが、まことしやかにジェスチャーさえ加えて主張される意見が、かなりの部分受け売りに過ぎないことがよくありました。

私が期待する論文は、これらとはまったく正反対のもの、すなわち、素朴でカッコ悪くてもいいから、書き手の言葉でその意見と考え方が正直に表明されている、受け売りではない文字通り手作りのものです。これこそ論文の出来不出来を決定するポイントだと思います。

（大学院人間・環境学研究科 准教授、思想文化論講座）

文系世界の経験から

水野 眞理

MIZUNO Mari

私の専門は英文学です。ここでは学生時代以来の経験に基づき、文系でレポート・論文を書くための基礎的かつ具体的な助言をいくつか書きたいと思います。

1 環境整備—モノをあなどってはいけない

論文にせよレポートにせよ、今は原稿用紙やレポート用紙に手書きして出す時代ではありません。パソコンで書いていくと、ソフトが誤字をチェックしてくれる、推敲や部分の入れ替えが簡単、文章がパソコンに残るので、使わなかった部分が(使った部分も)再利用できる、といいことづくめです。ただ、書き上げていざプリントアウトしようとして、あっカートリッジがない! 買いに走る時間/金もない! と慌てることがあります。パソコンやプリンタの調子が悪くて、というの言いい訳になりません。単純なことなのに案外行われていないこと、それはまずモノ—紙やインクやカートリッジ、提出用の表紙などを十分に揃え、パソコンやプリンタの調子を整えておくことです。

2 書くことが考えること

アイデアを頭の中で組み合わせたり発展させたりしていつて、大まかな構想が決まったら書き始めるものだ、と思っていませんか。それは幻想、何も考えていないのと同じです。経験からいうと、言語化して初めて自分の言いたいことは何か、自分の論理のどこが弱いのか、何を調べなければならないのか、といったことが判ってきます。イントロから順に書くのではなく、とにかくどこからでも書き始めましょう。イントロはむしろ最後に全体を見渡して書いたほうがよいのです。

そして、考えたこと、調べたことの100%を書こうという欲を捨てること。今回自分が時間内にできたことはここまでです、という謙虚な気持ちで提出します。書き残したことは次の機会に書けばよい。100%をめざしていると、読み直す時間もなくなり、結局不備だらけのものを出す羽目になります。

3 構成一起承転結や三段論法ではない

つかみ(起)、本論(承)、「ちなみに...」(転)、謳いあげる(結)、ではレポートになりません。大学で提出を求められるものの条件は論理の流れが明確であることです。全体を次のような三部構成にすると読んで分かりやすいものになります。これは三段論法とも違います。

前置き(Introduction)

何を書くか。なぜそのことが書くに値するのか(背景説明、先行研究のまとめ、自分の論の意義やユニークさ)。本文の章立ての予告。

本論(Body)

数個のセクションまたは章を立てる。個々のセクションや章の中では段落の冒頭にその段落の骨子を述べ、その後にそれをサポートする論拠を書く。

結論(Conclusion)

本論から導き出された帰結を書くのではなく(それは本論中で書く)、本論の要約の形でダメ押しをする。本論から新たな論理展開はしない。

4 資料の扱いは用心深く

図書館やインターネットで調べ物をする作業は重要ですが、よくないのは「鵜呑み」と「丸写し」です。例えばシェイクスピアがギリシャ神話を下敷きにしてこれこれの芝居を書いた、と書物やネット上のサイトに書いてあっても信じてはいけません。まして自分の考えや発見であるかのように書いてはいけません。文献の著者名を出して「誰それはこう書いている」というのはOKですが、それが正しいかどうかを自分で確認します。神話事典の類で調べるだけでは不十分です。ギリシャ神話なら古代の作家が編纂したものが多く残っており、英訳や邦訳にも事欠きません。それらを自分の目で読み、シェイクスピア作品の下敷きになっていると納得できたら、そこから引用するのです。そして、参照した文献は全てリストにして最後につけます。文献リストは自己流でなく何か一つの様式(例えばMLA方式)に従って一貫した論理で作ります。

さて、このように書いていると、そういうお前の論文はどうなんだ、といわれそうです。そういうときにはこのエピソードを引きましょう。桂米二というベテラン落語家が「[[弟子には]自分の理想を教えているが、実際の舞台では私もできてへん」と恥じたことに答えて、さらにその師匠である桂米朝がこう言っています。「その通りや。えらそうに言うほどできてないとわかってても、教えなあかんことはあるんや」と(朝日新聞2008年9月2日)。

(大学院人間・環境学研究科 准教授、歴史文化社会論講座)

【推薦図書】

ジョゼフ・ジバルディ, MLA英語論文の手引, 第6版, 北星堂書店, 2005, < 図書館開架 836.5||M||3 >

化学系の論文を書くには(Q&A)

田部 勢津久

TANABE Setsuhisa

この記事は、論文・レポートの書き方について、田部勢津久教授へ、大学院生と学部生(*)の2人がインタビューした(2008年10月1日)内容をまとめたものです。

Q 研究テーマはどのようにして決めるのですか？

A 学部の卒論の場合は、まず何をやりたいのか、どんな分野のテーマにするのか、自らの興味が大切です。配属を決める時にはどんな先生が何を研究しているか、情報検索をすることが第一のステップです。自然科学系の人は、学部3回生の2月、指導教員決定後に、教員と卒論テーマの設定についてよく相談してください。

Q 先行文献はどうやって調べるのですか？

A 京大では、ほとんどのジャーナルが机の上で迅速にダウンロードできる素晴らしい環境に恵まれています。しかし、全てがインターネットで調べ尽くせるものではないので、その場合は努力を惜まず自分の足でかき集めべきです。私が学部4回生の時、現在の附属図書館ができ、地下書庫に雑誌が集約されたので、図書館によく足を運びました。

Q ある分野のReferenceでよく用いられている基本的な論文を、多く確認しなければならないのですが、どうしたらよいのでしょうか？

A その分野でのよい総説、権威者の文献や、クロスリンクしている重要な論文を読むことは大切です。今ではデータベースで簡単に検索できますが、必ずプリントアウトすることを勧めます。赤線やマーカーを付けながら作業しないと知識が身につけません。今読まないといけないという新鮮な時に、吸収することです。学生に注意することが多いのですが、pdfファイルをパソコンにセーブして安心しているのでは身につかないと思います。

Q たくさん論文を読まなければならない時は、どこを読むのですか？ 著者としての心構えは？

A 論文の種類によります。まず、Abstractを読みます。Introductionは、自分にとって新しい分野、研究であれば読みます。自分の分野に近い論文であれば、

Introductionを読む必要はなく、実験方法以降を読みます。

著者としてAbstractを書く時は、短い文で如何に他の研究者に読む必要があるかを知ってもらうことを意識して書くことが大切です。自分の研究だけを念頭に置くと広い視野にたてなくなります。次に魅力的なIntroductionをしっかりと書けることが大切です。新しい実験手法を開発した時や新しい材料を見出した時は、Resultsを中心として記述しますが、新しい理論を出した時は実験方法の記述はあまりありません。

魅力的に書くべきは、Introductionです。研究意志がどこにあるか、そのバックグラウンドに基づいて行う自己表明だからです。

修士論文であれば、同じ分野の20~30人に読んでもらうことを念頭に置いて書いてください。古い話ですが、私の博士論文は100冊製本し、50冊を世界中の研究者に郵送しました。

Q Introductionを書く時、先行文献の選択基準はどこにあるのですか？

A 関連研究があれば、それを最初に行った人といえます。最近では、ワープロの発達で楽に論文を書けるようになったせいか、オリジナリティのない論文を量産する人が増えているので注意が必要です。

Q 先生は論文を書く時は、パソコンで書かれるのですか？ 頭を整理するのに、図などを書かれるのですか？

A はい。でも最初に英語論文を書いた時は、修士課程1回生の時で、日本語から英語に直しました。自然科学分野では論文の90%が英語で、何百もの論文を読んでいるから、専門家は英語で考えるのが当たり前です。英語で直接パソコンの方が自然に論文が書けます。

Q 英語の辞書は使われますか？

A あまり使っていませんが、今手元にあるのは『新英和中辞典』(研究社)です。インターネットでも辞書がすぐに引けるそうですが、一つの辞書(と語学)を自分の血肉にするため、理解するには、普通の人なら5-6回かかります。10回引くと書いてあったページの前後に何が書いて

あったかわかります。語学習得には5,000～6,000時間かかるそうですが、語学を自分の肉体として使うことができるためにはよい辞書を使い尽くす方がよいと思います。和英辞典は使っていません。英英辞典は、高校の時薦められたのですが今は使っていません。

Q 実験のレポート等を書く時の時制の表現がわからない時があります。

A 実験方法は「…した」と過去形にし、考察であれば「…と思われる」など現在形となります。実験方法と結果の説明では、観測した事実である場合は、過去形で書きます。Results (結果) や Discussion (結果についての考察) では、絶対に事実と推測を混同してはいけません。

・ 原理: 一般的な真理 (誰もが認める理論) は現在形です。例えば “It is generally accepted that…” 等の表現になります。一般的な「○○理論」を使って実験した時にも、確立した理論を説明する時は現在形です。

・ 結果: 今回観測した結果を記述する時は過去形になります。

Q 確立しているかどうかの判断はどこでつけるのですか？

A 「A 博士は○○を提唱した」であれば “Dr. A proposed ○○theory that (現在形)” と主文は過去形で、従文中の理論説明の部分は現在形になります。

Q 参考文献はデータでハードディスクに入れて、フォルダー分けされているのですか？

A 論文はハードディスクに保存していません。重要な文献はプリントアウト後、探しやすい様に分類してストックファイルに整理しています。1ファイルに20論文ぐらいずつ入っています。気軽にハードディスクに保存して安心するのは間違いだと思います。存在を忘れてしまい、引っ張り出して読まなくなります。ハードディスクは自分の脳ではありません。赤線やマーカーを引きながら作業をすることが大切です。

Q 論文の書き方の本では、どんな本がお薦めですか？

A もう15年以上その手の本は読んだことがないので古いかもしれませんが、中村輝太郎氏の『科学英語論文のすべて』と『英語口頭発表のすべて: 国際社会での活躍をめざす科学者・技術者のために』は、私が院生の時に買ったのですが、これが一番よいのではないかと思います。私は材料化学出身ですが、中村先生の専門の固体物性物理とは近い分野で、自分の研究の展

開が必要な時に参考にしたり、論文を発表する時の具体例で参考にしたり、修士2回生で初めて国際会議発表する時に参考にしました。スライドの時代からハードが進歩しましたが、基本精神は今の学生さんにもお薦めの本です。

反対に、若い学生さん方のお薦めの方が役に立つかもしれませんね。『理科系の作文技術』は、今でも京大生協ルネにあり、売上ランキングが上位だそうです。

このほか、学生の研究室にずっとおいてあるものはよいのでは(推薦図書参考)。

Q スケジュールとして、どのくらいの期間で論文を書きあげていらっしゃるのですか？

A 集中すると2時間ぐらいで書きあげられることがあります。先日の日本の雑誌『New Glass』では、私の専門分野で、修士課程の方を対象にした「やさしいニューガラス講座」だったのですが、解説記事が早く書けました。

一日のスケジュールは、日によって全く異なります。本当は、机に向かうより実験室にいる方が楽しいです。

Q 効率的な時間の使い方はありますか？

A やりたいことがありすぎて難しいです。よく出張の新幹線で論文を読んだりPC作業をしたりする人がいるけれど、私は酒を飲んでボケっとしています。余り偉そうなことは言えません。

以上、参考になりましたでしょうか。また、質問があればいつでも聞いてください。

(大学院人間・環境学研究科 教授、物質相関論講座)

*** インタビュアー**

西浦 聖太郎 NISHIURA Shotaro
(大学院人間・環境学研究科 修士課程2回生)

片山 裕美子 KATAYAMA Yumiko
(総合人間学部 4回生)

【推薦図書】

- ・ 中村輝太郎, 英語口頭発表のすべて: 国際社会での活躍をめざす科学者・技術者のために, 丸善, 1982.
 - ・ 日本物理学会編, 科学英語論文のすべて, 第2版, 丸善, 1999.
 - ・ Peter Kenny, 英語口頭発表: 科学者・技術者のために, 中村輝太郎訳, 丸善, 1984.
 - ・ 木下是雄, 理科系の作文技術, 46版, 中央公論社, 2002, (中公新書, 624).
- < 図書館新書, 中公新書III 624 >

メタボにならない脳の作り方

(扶桑社新書; 029)

扶桑社, 2008年6月
(ISBN : 9784594056841)

森谷 敏夫

MORITANI Toshio

2007年9月2日の朝日新聞に65歳以上の方々の15年間追跡調査した九州大学医学部の先生方の結果(久山町研究)が報じられ、肥満と糖尿病を併発された方々は正常体重の方に比べアルツハイマー型認知症になる危険性が4.6倍も高かったことが記載されています。また、癌にも3.1倍も高い倍率で罹患したことが判明しました。まさに糖尿病は万病の元なのです。

どうも最近の男性諸君は自分の健康に対する意識だけでなく、知識もあまり持ち合わせていないのでしょうか。お腹がだぶついた中年男性は日増しに増えて、今年度から実施されているメタボ検診では恐らく40歳以上の男性の二人に一人はメタボリック症候群に罹患している可能性が示唆されています。

運動不足、肥満、ストレス、乱れた食生活などから、体調が悪く朝の通勤電車の中で早々と居眠り。中にはつり革を持ちながら、必死に睡眠を取ろうと、膝がカクカクとなっている方も結構多いようです。こんな状態でハツラツと仕事がこなせるとは到底思えません。

糖尿病はいろいろと誤解されている病気です。たとえば「糖尿病は遺伝する」という風説。これは明らかに間違っています。現在、糖尿病の患者は約850万人いるといわれています。これは正確な記録が残っている1955年と比べて30倍以上の人数になります。終戦直後(1946年)からすれば50倍にもなるでしょう。私はいま58歳ですが、たかだかそのくらいの年月で、罹患者が50倍になるなんて遺伝では到底説明が付きません。

では原因は何でしょう? すぐに頭に浮かぶのは「飽食」「栄養の取り過ぎ」という言葉でしょうか。わが国の一人1日あたりのエネルギー摂取量は、1975年頃の2,226kcalをピークとして減少に転じ、2004年には1,902kcalと、終戦直後(1946年)の1,903kcalとほぼ同じ水準にまで低下しています。この間、食事から摂取するエネルギー量は減少し続けているにもかかわらず肥満者は増え続けているのです。理由のひとつは、便

利で体を動かさない近代的な生活による「エネルギー消費量の減少」が「エネルギー摂取量の減少」を上回り、「相対的なエネルギー過剰」となっていることです。まさに運動不足なのです。

厚生労働省は、まさに国民病ともなった糖尿病の予防やその温床となる肥満の予防・改善などを柱にしたメタボ対策の推進を2008年4月から開始したところです。「1に運動、2に食事、しっかり禁煙、最後にクスリ」のスローガンをあげて頑張っているのは厚生労働省生活習慣病対策室です。最大限のエールを送りたいと思います。「運動」を第一に掲げているのも最先端の運動・医科学のエビデンスから出たものであると確信しています。

この本の特長は一般の方々にも理解できるように非常に平易に、最新の運動・医科学の知見をちりばめていることです。京大のマサイと呼ばれる体脂肪率9.8%の著者が伝えたいメッセージは「一生涯の習慣的な運動の継続や“頭で食べる”食習慣が血糖のコントロールや肥満・メタボの予防だけでなく、心臓、脳血管系疾患、認知症、ガンの予防に不可欠であり、知的機能を維持した豊かな老後への免罪符になる」ことです。是非、ご一読いただければ幸いです。

(大学院人間・環境学研究科 教授、認知・行動科学講座)



493.1

M

14

人環総人

(配置場所: 図書館教員)

イザベラ・バード 極東の旅 1・2

(東洋文庫; 739,743)

イザベラ・バード[著]; 金坂清則編訳, 平凡社, 2005年
(ISBN : 9784582807399, 9784582807437)

金坂 清則

KANASAKA Kiyonori

イザベラ・バードは世にも稀な旅行家だった。このことを正しく証明するには、彼女とその旅に関する従来の作品を超えねばならず、そのためには、彼女が記したあらゆる記録や写真を丹念に掘り起こし、資料批判も伴って考証することが不可欠であり、その狙いは実現できる。しかもこのような研究は従来ないし、私の専門である地理学の刷新にも通じる — こう考えて私は本書を刊行した。1894年から97年まで3年以上に及んだ、激動下の極東の旅の成果は、よく知られている2冊の大著(*The Korea and her Neighbours*と自ら翻訳上梓^{*}した*The Yangtze Valley and Beyond*)だけではないもっと豊かなものだったことを証明する作品 — それが本書である。学問分野の枠組みに捉われない研究の重要性を、学問研究の世界と一般社会に示していくことを存立基盤とする総合人間学部、人間・環境学研究科の使命にも直結する。

※金坂清則訳『中国奥地紀行1』『同2』平凡社, 2002

本書の構成

上記の「論証」のために私は本書を全2巻4部で構成した。そして「I アジアへのまなざし」と題した第1巻には発掘した2冊の稀観本=写真集を収め、美術書としての分析から、誕生の経緯、各60点の収載写真の解明までを行った。『東洋文庫』初の全頁アート紙の書物である。第2巻は「II 旅の実際を語る」、「III キリスト教伝道活動をめぐって」、「IV アジア旅行家の第一人者として」という3部と詳細な訳注・解題・解説・索引で構成し、II～IVでは各4点の文献を収めたが、いずれも長期にわたる文献収集なくして入手できないものである。相互の文献が互いに連関して1つの立体像をなしたと、また、読者がバードとその旅の真相を実感できるのではないかと、そして、「旅行記を読むということはその基になった旅を読み、その旅を行った人を旅での経験を越えた次元で読み、さらにはその人が旅した時代を読むことである」という私の考えを伝えることができたのではないかと、考えている。

本書の反響—書評から—

このような本書に対しては、把握している限りでも10名の方々が書評・紹介してくださり、身に余る評価をいただいたが、何よりもありがたかったのは、フィールドワークも生かした方法論に歴史学からも学ぶべきものがあるとの指摘(秋田茂氏『西洋史学』224、谷口規矩雄氏『アジア遊学』88)

や、キリスト教史における本書Ⅲ部の重要性を認めていただいた(大江満氏『キリスト教史学』61、諫山禎一氏『聖公会新聞』612)こと、そして、わずか1枚の写真を考証することにも大きな意味があり、大きな事実の発見に至れるとの紹介(栗原俊雄氏『毎日新聞』2005.6.28、平野有益氏『熊本日日新聞』2005.11.26)だった。

もちろん、地理学の世界に身を置く者として、学界の重鎮の一人、正井泰夫氏(『地図情報』25-4)や、それぞれ南アジア・中国の地理学からの地域研究を牽引しておられる溝口常俊氏(『歴史地理学』48-2)、小島泰雄氏(『東方』304、『地理』51-12)が、地理学者の仕事として、本書およびその基になったバードとその旅を評価してくださったことは、大きな励みとなった。地理学研究者による旅と旅行家と旅行記への研究進展の足掛かりになればとも思う。さらに『週刊東洋経済』(2005.12.31-2006.1.7)でも取り上げられた(福永宏氏)ことも、本書への関心の広がり示すものとしてありがたかった。

研究・活動の進展と今後の課題

自ら認識したり、出版社から与えられている課題は数多い。その中で、目に見える成果としては執筆よりも優先させているのが、20年に及ぶフィールドワークの産物である写真を、バードの文章や写真・銅版画と対比して展示する写真展“In the Footsteps of Isabella Bird: Adventures in Twin Time Travel”の英国での開催であり、計3回延4ヵ月に及んでいる。その成功を執筆にも展開することは、ツイン・タイム・トラベルという私の造語に、地理学者としての活動の真髄を見る私にとって不可欠なことだと考えている。

(大学院人間・環境学研究科 教授 文化・地域環境論講座)



第1巻 第2巻

第1巻	第2巻
292	292
1	1
2	2
1	2
人環総人	人環総人

(配置場所: 図書館教員)

火山噴火-予知と減災を考える

(岩波新書;新赤版1094)

岩波書店, 2007年9月
(ISBN : 978400431095)

鎌田 浩毅
KAMATA Hiroki

日本列島には108の活火山があり、思いがけない時に噴火しては人間社会を騒がせる。私の専門は火山学である。噴火の堆積物を調べるフィールドワークが主な仕事で、海外の火山へもたびたび出かける。

本書は、火山の噴火を分かりやすく解説した本で、私がアウトリーチ(啓発・教育活動)に全精力を注いで5年目に当たる節目の本となり、その到達点を示す「作品」でもある。

専門外の読者にも分かりやすく、最後まで楽しく読み通せる面白い本を目指すとともに、自然とあるべき付き合い方に関する自然観を提起した。火山という大自然を前にした小さな私の社会貢献と考えている。

副題にある「減災」とは、噴火による災害を科学の力(噴火予知)でやり過ごす知恵である。一方、噴火の後には、長い期間に亘って火山の恵みを享受することができる。火山の恩恵と魅力を伝えつつ、自然に対する畏敬の念を悠揚とした視点で書き綴ったのである。

私は地球科学の教養教育として全学共通科目の「地球科学入門I」と「フィールド地球科学A」を担当している。これらの講義は、じつは楽しくて仕方がないものだ。自分が毎回熱中しているというって良いだろう。

本書は講義のテキストとしても使っている。火山や地球についてまったく知らない人が、最後まで投げだすことなく読み通せるように、分かりやすく書き下ろしたものだ。この執筆のために、私は研究人生の大部分を投入して(棒に振って?)しまったほどである。

講義のために親しみやすい教科書を用意することは、とても大切なことだと思う。学生は授業の前に読んで予習ができる。これによって講義の理解度は格段に向上するのだ。さらに、板書した内容を写し取ることにエネルギーが吸い取られる、という無駄を省くこともできよう。

また、講義の終了後にテキストを読み返すことで、学んだ知識の確認もできる。本書を通じて、火山の偉大さ、災害の恐ろしさ、恵みのすばらしさ、科学も結構捨てたものではないこと、などを感じとっていただければ幸いである。

私は火山の新書を書く過程で、アウトリーチが大問題であることを知った。アウトリーチには、1.研究資金の獲得、2.後継者の育成、3.一般社会への認知、といった目的があるが、今の科学ではいずれも緊急課題なのだ。地震・火山噴火・地球温暖化など、社会が直面する問題と直接取り組まなければならないからだ。

ついに私は、アウトリーチの方法論自体を、自分の研究テーマにしてしまった。というのは片手間で達成できるものではないからである。その結果、火山学者としてアウトリーチへ全精力を注ぐ覚悟を決め、「科学の伝道師」

という生きかたを選んだ。モットーは「面白くてタメになる」で、本書はこの実践の一つである。

私は執筆・講義・講演・テレビやラジオ出演の体験から、教育・研究・広報や自然災害の減災のありかたの提言をするに至った。ここでのキーワードは、市民と科学者をつなぐ「ブリッジマン」である。「伝える」から「伝わる」へという転換によって、科学をとりまく状況を明るく変えたいと願っているのである。

本書が刊行された2007年は、富士山が江戸時代に噴火してからちょうど300年目に当たる。そこで、講談社ブルーバックスから『富士山噴火-ハザードマップで読み解く「Xデー」』を刊行した。日本最大の活火山、富士山は今も地下でマグマが動いているのだが、不気味な沈黙が続いている。もしも現代のハイテク社会が噴火に見舞われたら何が起きるかについて、詳しく紹介したのである。「富士山ハザードマップ」の解説とともに、火山灰、溶岩流、火砕流、山体崩壊など猛威の全貌を予測して、新幹線・コンピュータ・人体への影響などを考えた。『火山噴火』とは対になる噴火対策の実践編なのだ。

この年にはカラー児童書『火山の大研究』(PHP研究所)も刊行した。火山は災害だけでなく、温泉やおいしい野菜を私たちに恵んでくれる。こうした火山の魅力を豊富な写真と図解で楽しく解説した。同書の「教えて!火山学者の仕事」では、普段の私の様子も公開した。「科学の伝道師」をビジュアルに見てもらおうと思ったからある。火山国の日本に住むからこそ、火山について子どもたちにも知って欲しいと思う。

(大学院人間・環境学研究科 教授, 自然環境動態論講座)



岩波新書
R
1094
人環総人

(配置場所: 図書館新書)

鎌田浩毅のホームページ

<http://www.gaia.h.kyoto-u.ac.jp/~kamata/>

【関連図書】

- ① 鎌田浩毅. 富士山噴火: ハザードマップで読み解く「Xデー」. 講談社, 2007(ブルーバックス). <図書館新書, ブルーバックス||B||1576>
- ② 鎌田浩毅. 火山の大研究: 地球に秘められた大きなパワー. PHP研究所, 2007. <図書館教員, 453.8||K||29>

日本重要水産動植物図と田中芳男

松田 清

MATSUDA Kiyoshi

平成16年12月24日未明、人環・総人図書館の水道管が破裂し、地下書庫が甚大な水損を蒙った。この水損事故が契機となり、第三高等学校（三高）時代の近代教育掛図294点が地下から蘇った。総長裁量経費（平成17～19年度）により、院生諸君の協力を得て、これら三高掛図のみならず、金沢大学附属図書館所蔵の第四高等学校（四高）、北海道大学附属図書館所蔵の札幌農学校、東京大学駒場図書館所蔵の第一高等学校（一高）で使用された掛図を調査し、三高掛図と四高掛図（印刷掛図、250点）については、それぞれ分類目録冊子¹⁾を刊行するとともに、京都大学電子図書館²⁾において高精細画像を公開することが出来た。

本誌、人環・総人図書館報創刊号の表紙を飾るのは三高掛図の「ヘルツェル社製直視式語学教育用掛図 第1シリーズ 春」(Hölzel's Wandbilder für den Anschauungs- und Sprach-Unterricht. Wien, Ed. Hölzel, 1885.)、縦90cm、横140cmの見事な大型カラー石版である。1850年代からヨーロッパで普及したカラー石版技術は古典名画の複製や地図製作のみならず、語学教育、博物教育、工芸教育などの教育掛図に幅広く導入された。ウィーンの石版印刷業者ヘルツェル Eduard Hölzel(1817-1885)は高度なカラー石版技術を生かして、学習地図帳と語学教育用掛図で成功を収めたのである。ヘルツェル掛図は明治31年頃から、一高、三高、四高などの旧制高校に一斉に導入されたようである。

我が国への石版技術の導入には、1873年(明治6)のウィーン万博に技術伝習生としてウィーンへ派遣された岩橋教章(1835-1883)の役割が大きい。彼はオーストリア陸軍地理学校で地図製作法を学ぶとともに、フリードリヒ・ケーケFriedrich Köke工房で石版技術を習得して、帰国後、技術の普及に努めた。一方、明治初年、文部省の博物掛図編纂刊行を主導したのは、パリ万博(1867)に幕府蕃書調所産方として、またウィーン万博に博覧会一級事務官として派遣され、博物教育における掛図の重要性を認識していた田中芳男(1838-1916)であった。その背景として、田中の師がシーボルトの門人で尾張蘭学出身の伊藤圭介であり、田中を含めて尾張蘭学を担った本草家たちが、盛んに印葉図技法を競い合うなど、ひとしく博物図製作技術に強い関心を抱いていたことも想起される。

三高掛図には上記ヘルツェル掛図など貴重な外国製のカラー石版掛図のほか、明治期に出版された国産のカラー石版掛図もある。その代表例として、「訂正再版日本重要水

産動植物図」4図(大日本水産会、明治23年刊、大蔵省印刷局製)を紹介しよう(図1、図3参照)。

4枚のボール紙にそれぞれ、第壹図から第四図(本紙外寸、縦54cm横65cm)を貼り付け、上部には掲示用に鳩目の穴が二カ所計4個、開けられている。「第三高等学校図書之印」との印記、登録番号「第一三三七号」の印(数字は書き入れ)、分類番号「680番／55」のラベルがみえる。「訂正再版／日本重要水産動植物図／第壹〔～四〕図」の標題の下には、英文の副標題「The Principal Aquatic Animals And Plants of Japan. / Plate I〔～IV〕. / Second Edition, Revised And Improved.」を掲げ、図面の左下に「大蔵省印刷局製」と印刷されている。各図ごとの収録動植物図数は第壹図(魚類36種)、第貳図(魚類58種)、第三図(甲殻類・介類50種)、第四図(海藻類・他の動物29種)、総計172図であり、図面の下段に、一連の参照番号(1～173)に続いて、和名(ひらがな表記)と学名が印刷されている。第貳図の最後に位置する「94.たかべ Cypselichthys japonicus, Döderl.」は標本が印刷までに間に合わなかったため、図が欠けている。

この掛図の成立事情は、掛図に添えられた『訂正再版日本重要水産動植物図解説』(大日本水産会、明治23年11月刊)の緒言に詳しい³⁾。以下に、私に句読点を付して引用する。

客歳仏国大博覧会ノ挙アルニ方リ、農商務省水産局ニ於テハ本邦重要水産動植物百五十九種ヲ写生シ、之ヲ石版ニ印シテ該会ニ展列シタリ。然ルニ本邦水産物写生図ノ刊行ヲ経ルモノ実ニ寥寥タルヲ以テ、世ノ此図ヲ需要スルモノ極メテ多シ。本会仍テ再刊ヲ図リ之ヲ農商務省ニ請フ。農商務省之ヲ允シ且重要ノ品種ヲ増補シ、百七十三種トシ、大ニ訂正ヲ加ヘ原版ノ面目ヲ革メラレタリ。

本図訂正ハ本会学芸委員農商務四等技師松原新之助、農商務属啓助ノ二氏之ヲ担当シ、画工伊藤熊太郎氏之ヲ描写シタリ。而シテ本会学芸委員元老院議官田中芳男、本会学芸委員理科大学教授箕作佳吉、理学士穴戸一郎、同岸上謙吉、本会学芸委員波江元吉等諸氏ノ賛助ヲ以テ成効ヲ得タルハ本会ノ深く感謝ヲ表スル所ナリ。

本図ニ解説ヲ附スルモノハ、主トシテ図中挙ゲル所ノ水産物ノ性質効用等ヲ示シ以テ観者ノ参考ニ資シ、且図中ニ顕ハシ難キ所ヲ補フニ在リ。而シテ其ノ編述ニ従事セルハ松原新之助、下啓助ノ二氏ナリ。

明治二十三年三月 大日本水産会

すなわち、本図は1889年(明治22)開催のフランス革命百周年記念パリ万国博覧会に出品された農商務省水産局製石版「重要水産動植物」図の改訂再版である。改訂再版に最も力を尽くしたのは、明治15年に大日本水産会創設に関わり、その監事となった松原新之助(当時、東京大学助教授・駒場農学校教授)である。田中芳男はその前年内国勸業博覧会審査幹事、農商務大書記官となり、明治16年には上野公園で開催された第一回水産博覧会の審査長を務め、元老院議員、農商務省御用掛兼勤、農書編纂掛長および博物館事務取扱を命ぜられ、殖産興業のための博物館整備に当たった。箕作佳吉は東京大学動物学教授で当時ダーウィン思想の普及にも熱心であった。穴戸一郎、岸上謙吉(きのう え・かまきち)はいずれも箕作門下の水産学者である。

1889年パリ万博に出品された農商務省水産局製「重要水産動植物」は日本の近代博物学史のみならず、印刷技術史においても国産最初の本格的なカラー石版博物図として重要である。その稀少な伝存例として、金沢大学附属図書館所蔵四高掛図のひとつを挙げることが出来る(図2、図4、図5参照)。この「日本重要水産動植物之図／第壹[～四]図」は標題の下に、仏文の副標題「Dessin des principaux animaux et plantes aquatiques du Japon. I^{re} [～IV^{me}] Planche.」を掲げ、図面の左下に「明治廿一年十一月廿七日出版 農商務省」との刊記および「動植物図各図に付された寸法は共通尺度による」とのフランス語注記が添えられ、右下には「大蔵省印刷局製」と印刷されている。各図ごとの収録動植物図数は第壹図(魚類42種)、第貳図(魚類41種)、第三図(甲殻類・介類51種)、第四図(海草類・他の動物25種)、総計159図であり、一連の参照番号(第壹図・第貳図1～83、第三図1～51、第四図1～25)が付けられ、和名(ひらがな表記)と学名が図面下部に参照番号とともに印刷されている。ただし、この四高本は第壹図・第貳図、第三図・第四図が二図ずつ軸装されており、第四図の学名欄に虫損がある。四高掛図には、「訂正増補日本重要水産動物図」(大日本水産会、明治30年刊、亀井鑑太郎石画、細井松夫印刷)第一図～第七図、「日本重要水産植物之図」(大日本水産会、明治30年刊、小林新兵衛刊)も揃っているが、「訂正再版日本重要水産動植物図」は見つかっていない。

この「訂正再版」は田中芳男が日本最初の産業博物館として心血をそそいで創設準備に取り組んだ神苑会農業館の膨大な展示掛図にも利用された。明治24年に伊勢山田の外宮前に開館した農業館は昭和34年の伊勢湾台風により甚大な被害を受け、水浸しになった貴重な資料類が失われてしまったという。この農業館の陳列のために、田中は141種257枚の掛図を編集または校閲した⁴⁾。その編集校閲の苦労を物語る草稿「勸農開物翁掛図稿」(田中の没後、大正6年10月に整理、第二集)の綴りが牧野富太郎旧

蔵書からなる高知県立牧野植物園牧野文庫に伝わっている。そのなかに綴じ込まれた「水産物図解」の草稿の末尾には、「此ノ図解ハ初メ農商務省水産局ニ於テ仏国大博覧会ヘ出陳ノ為メ印刷シ、其後尚訂正ヲ加ヘタルモノニシテ、明治二十三年中大日本水産会ヨリ同省ニ請ヒ允可ヲ得、再版センモノヲ用ヒシナリ。而シテ解説ハ其ノ一班ヲ摘記セリ。明治二十四年十二月 黒田直夫 記」との貼紙がある。田中は掛図作成や展示解説にあたって、一般の見学者にも分かりやすい文章で振り仮名を多用する方針を貫いたが、黒田も田中の方針に従って、数多くの図解掛図を執筆し、田中の校閲を得ている。

「訂正再版日本重要水産動植物図」に依拠して作成された「水産物図解」は、「一より九十三までを魚類とし、九十四より百六十一までを介類其の他」、「百六十二より百七十四までを海藻類」として「略解」を掲げたものであった。掛図そのものは残念ながら見る機会を得ないが、その草稿と『訂正再版日本重要水産動植物図解説』との違いを示すため、一例をあげよう。(句読点は引用者)。原ルビは()内に示した。

(7) テフザメ 図ハ剥製ニ依ル。此属ハ其ノ類頗ル多シ。本邦ニテハ北海道ノ石狩河ニ於テ之ヲ漁ス。又一種アリテ稀ニ他ノ地方ニ漂着シタルコトアリ。大ナルハ五尺許ニ至ル。石狩川ニ於テハ六月ノ頃産卵ノ為メ上流ニ遡ル。其川上ニ集ルヲ候ヒ之ヲ網獲ス。但其産額少ク需用広カラズト雖欧州人ハ其卵ノ醃藏セルモノヲ漁鱈(カビア)ト称シ酷ク珍賞シ、又其肉ヲ賞食ス。且其鰾ヲ採テ最良ノ膠ヲ製ス。清国ニ於テハ頭部ノ軟骨ヲ採製シ、鯉魚頭骨ト称シテ貴重ノ食膳ニ供ス。

(七) てふざめ 大なるは五尺許に至る。西洋人は此の卵(たまご)を醃藏(しほづけ)となし、又肉を賞美す。且つ鰾(うきぶろ)より最良の膠(にかは)を製す。支那人は頭部の軟骨を採り、製して貴重な食膳(ぜんぷ)に供す。

この「略解」(七)からも、田中の目指していた幅広い国民を対象とした産業博物館の理想の一端を窺うことが出来よう。

注

- 1) 松田清・益満まを編『京都大学所蔵近代教育掛図目録』、京都大学大学院人間・環境学研究科、2007年3月刊。同編『金沢大学所蔵近代教育掛図目録—印刷図編—』、京都大学大学院人間・環境学研究科、2008年3月刊。三高掛図については、人間・環境学研究科と京都大学総合博物館の共催で、特別展「眼で学ぶ、絵で教える 京都大学所蔵近代教育掛図展」を開催した(期間：2007年2月7日～3月18日)。
- 2) 京都大学電子図書館 貴重資料画像 <http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/exhibit/index.html>

3) この解説冊子の発行者は当時大日本水産会幹事長であつた柳栖悦(やなぎ・ならよし、1833-1891)。

を知る会、平成12年刊)所収「神苑会編成掛図類目録」による。同書所収「田中芳男年譜」参照。

4) 田中義信『田中芳男十話・田中芳男経歴談』(田中芳男

(大学院人間・環境学研究科 教授, 比較文明論講座)

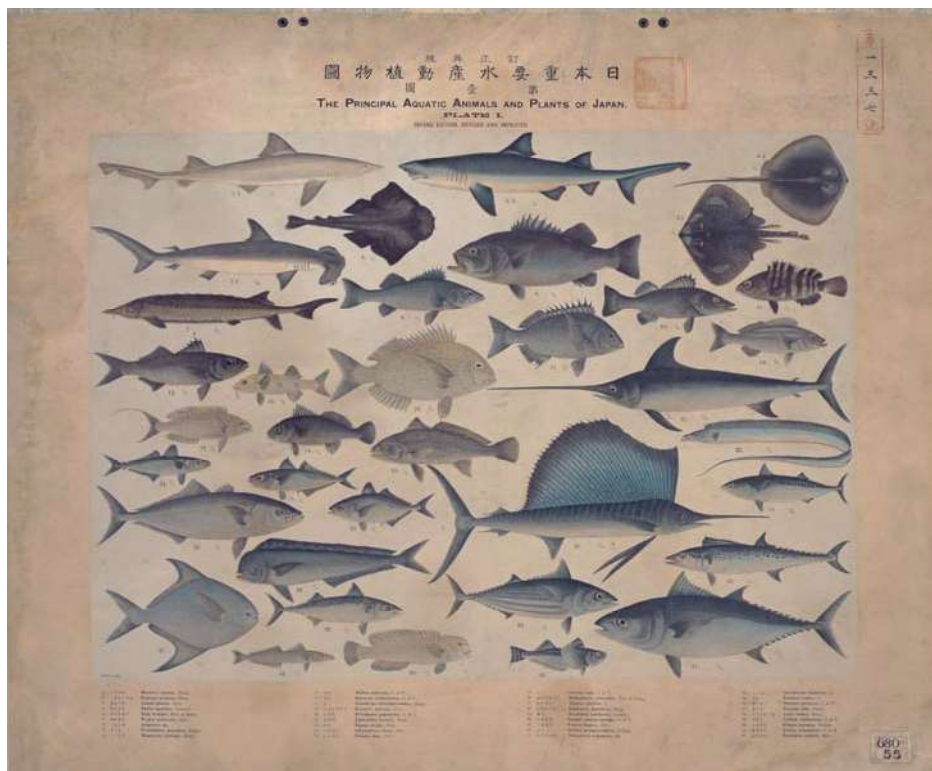


図1 訂正再版 日本重要水産動植物図 第壹図 明治23年刊
(京都大学人間・環境学研究科総合人間学部図書館所蔵)

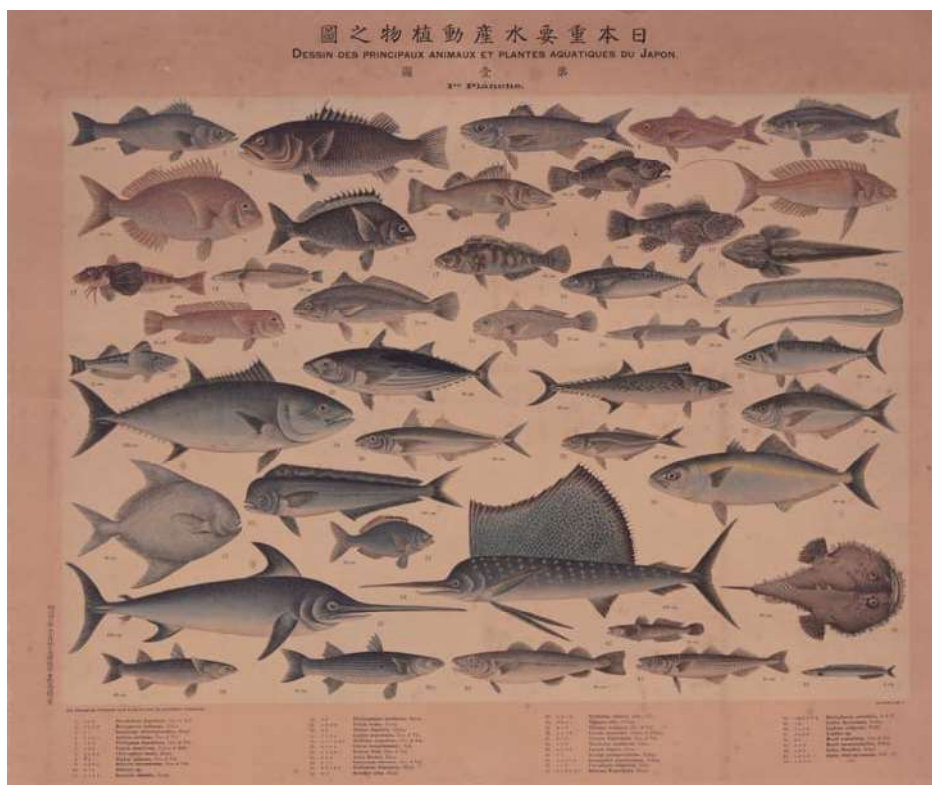


図2 日本重要水産動植物之図 第壹図 明治21年刊
(金沢大学附属図書館所蔵)

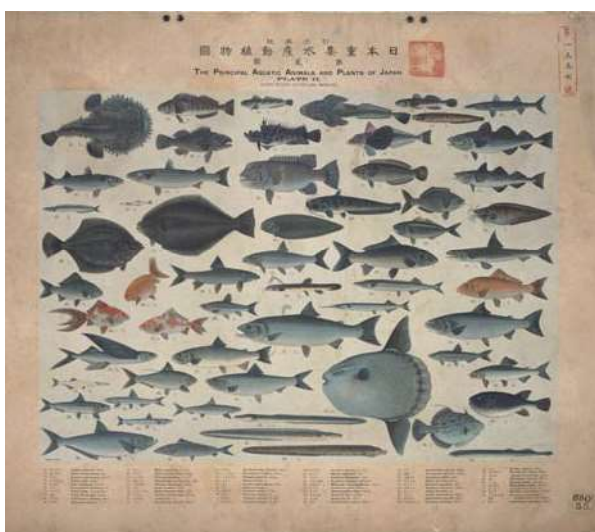


図3 訂正再版 日本重要水産動植物図 第貳図 明治23年刊
(京都大学人間・環境学研究科総合人間学部図書館所蔵)



図4 日本重要水産動植物之図 第貳図 明治21年刊
(金沢大学附属図書館所蔵)

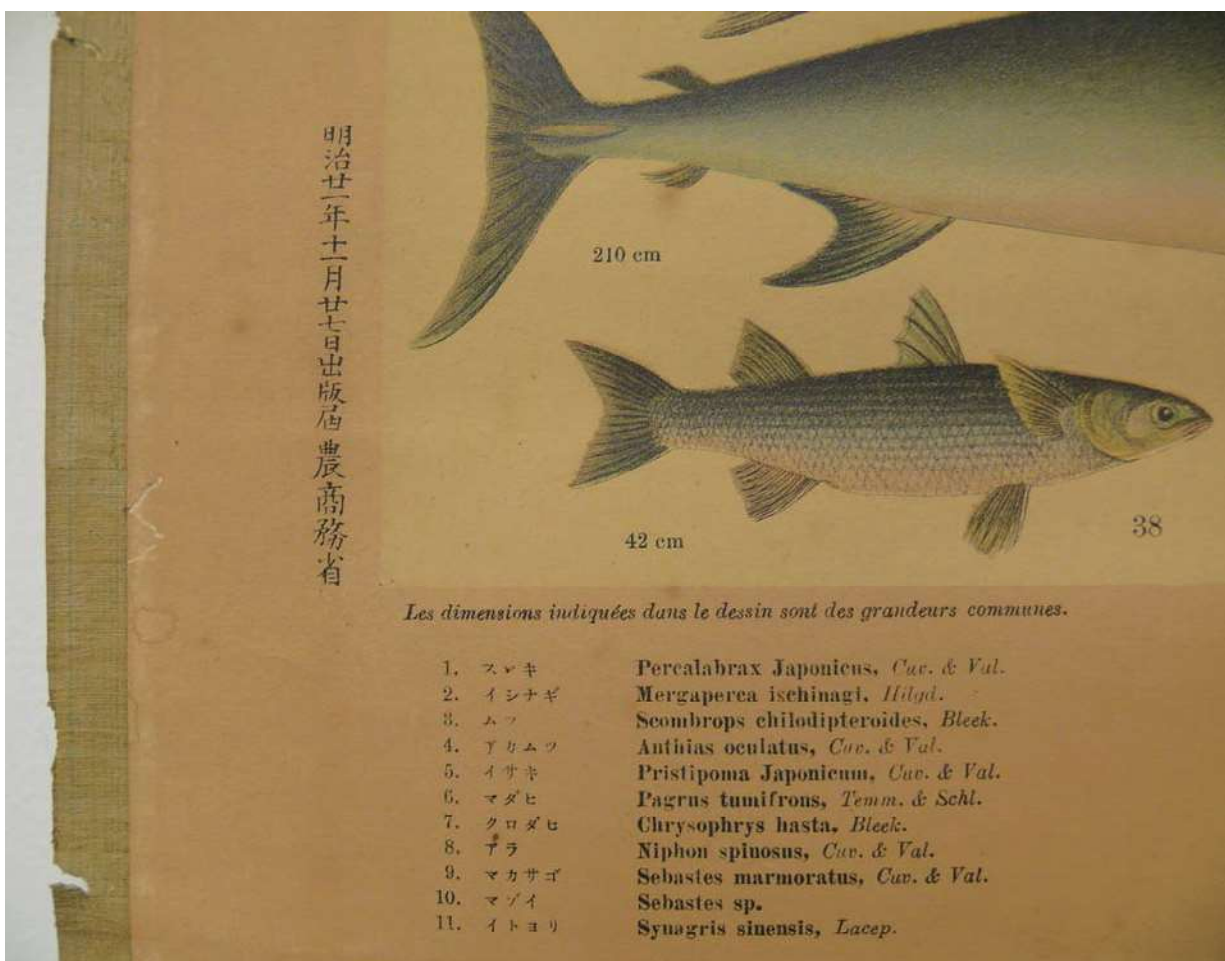


図5 日本重要水産動植物之図 第叁図(部分) 明治21年刊
(金沢大学附属図書館所蔵)

日本人の中国語勉学に関する小考(続)

— 補語を中心に —

劉 志偉

LIU Zhiwei

はじめに

前稿では、中国語における単文及び複文の概念を定義した¹⁾。即ち、筆者の定義する単文は、文を構成する主語や述語などの成分が単語或いはフレーズであることを前提とする。そして、単文を文の構成成分とするものや(接続詞などによって)単文が繋がっている形のもを複文に分類する。次の図式の如く、それらの関係を示しておいた(図1)。

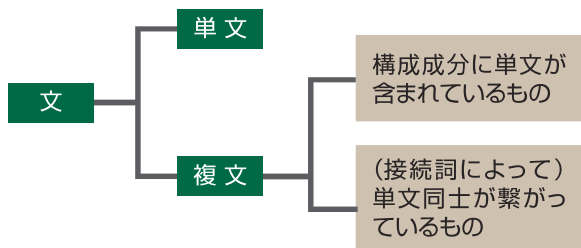


図 1

続いて、文を作る場合における中国語と日本語との発想の違いを説明し、日本人が中国語を勉強するときは、日本語を頼りに局所的な母語対訳による学習が有効であると述べた。言い換えれば、中国語における独自の発想による部分は、それを理解した上で中国語の語順を考えなければならないということになる。とりわけ、日本語の単文の多くが修飾と被修飾の関係とみなされるのに対して、中国語の場合は述語を軸に、前方から修飾・限定の方法をとり、それに後方から何らかの意味的補足を行うという表現の仕方が用いられている。このことに基づいて、次の図式を提起した(図2)。



図 2

そして、中国語の単文における前方からの修飾・限定を四つのパターンに分けて略述した。本稿では前稿に引き続き、単文の後方から行われる意味的補足を中心に述べることにする。

単文の述語成分を境に、その後部からは何らかの意味的補足が施されると考えられる。つまり、本稿の中心である補語のほか、目的語成分、時間助詞、語気詞の三者も一種の意味的な補足として理解することが可能である。例えば、目的語成分は述語成分に対する対象や目的地の具体的な内容の補足である。そして、時間助詞を述語成分の後部に置くことによって、時制などが明確に示されることになる。また、語気詞は一つの文全体の話者による意志を総括したものと見ることができる。勿論、以上の三者が同レベルのものなのかどうかについては更なる考察が必要であるが、三者が述語成分の後部に現れ、一種の意味的な補足をするという理解することには異議はないであろう。

補語は中国語学習においてだけでなく、中国語の教授及び研究においても難解な要因である²⁾。その結果、補語に関する定義や分類が統一されておらず、学者によって用いられている補語の分類も異なる。これらの分類の中には、意味による命名もあれば、形式による命名も見られる。しかし、本稿はこれらの名称及び命名の是非を論じるものではない。日本人の中国語学習者が、より分かりやすく理解できるように、補語を意味及び形式の観点から分類することにより補語の全体像を以下で説明する。

なお、記述の基準として、補語の象徴とも言える「得」を用いる(ごく稀に「个」や「得个」を用いる場合もあるが、これらは個別に扱うこととする)。「得」は、名詞のフレーズを構成する「的」と動詞のフレーズを構成する「地」の両者とともに一般的に「構造助詞」と呼ばれるものである。より簡単に例えて言えば、フレーズを作る際に、言葉同士を接続するために用いられる接着剤のようなものである。「的」または「地」と同様、あるフレーズを作るにあたり、「得」が必要である場合とそうでない場合とがある。

以上の記述をまとめ、日本人の中国語勉学者が補語の全体像を理解する場合を想定し、意味分類、形式分類を問わずに、構造助詞「得」を伴うのかどうかを基準として補語の内容について考える(表1)。

命名の基準	「得」が伴わないもの	「得」を伴うもの	「得」が伴う場合もあれば、必要としない時もあるもの
意味分類	結果補語	可能補語	程度補語
		状態補語	
形式分類	前置詞補語		
	数量詞補語		
	方向詞補語		

表 1

基本的に中国語補語の種類を上表に挙げている七つに分け、続く「二」「三」「四」の三節にわたって略述する。

二

この節においては、構造助詞「得」を伴わない結果補語・前置詞補語・数量詞補語・方向詞補語と呼ばれる四種について記述する。このうち、結果補語は述語成分の結果に言及するもので、意味による命名であることは容易に理解できる。また、前置詞を伴う前置詞補語や数量詞が付く数量詞補語は形式を重視したものであることも理解できるだろう。ところが方向詞補語については、直接方向と絡む場合があると同時に、「天气冷起来了。(寒くなってきた)」のように意味の派生を生じる場合もある。一概に形式による命名であるとは断言しがたいが、本稿はこの種の補語が形態上は方向詞を用いていることから、形式による命名であると見なす。

1. 結果補語

日本語でも「読み終える」「聞き取れる」のように、一見単純に二つの動詞を組み合わせたものが多く存在し、これらは複合動詞と呼ばれる。後項動詞は前項動詞の結果的補足であるととることができる。たとえば、影山氏は日本語のV-V型複合動詞について、「日本語や中国語の複合動詞、英語の結果二次述語、アフリカ言語の連結動詞構文の総てに共通するのは、時間的な前後関係がそのまま言語形式の順序に反映され、前側には動作様態ないし原因が、後側にはその結果状態・位置が表現されるということである」と述べている³⁾。氏が述べるように、中国語のV-V型複合動詞は基本的に日本語のそれと対応しており、後項は前項に対する一種の結果的な補足として理解することができる。

A	主	B	述	C	時間	D	目	E	語気詞
			V	V/adj					

●我到昨天才看完了这本书。(V-V)

私は昨日になってやっとこの本を読み終えた。

●他始终没听懂对方的解释。(V-V)

彼は終始相手の説明を理解していない。

ただし、中国語の結果補語は、V-V型構造にとどまることなく、さらにV-adjの構造を有するものもある。この点に関しては大いに注意する必要がある。

●他一脚踩扁了啤酒罐。(V-adj)

彼は一踏みでビール缶を潰してしまった。

●我又把这个字打错了。(V-adj)

私はまたこの字を打ち間違えてしまった。

勿論、日本語にはV-adj型の構造がないわけではない。日本語においても動詞の連用形に、品詞的に形容詞に属する願望を表す「…たい」や難易を表す「…やすい」、「…にくい」などがある。しかし、これらの形容詞にあたる表現は中国語では修飾・限定として動詞の前に置かれる(図式2の箇所B)。

●我并不想追求潮流。

私は別に流行を追いかめたいとは思わない。

●这位先生特别好说话。

こちらの方は大変話しやすい方だ。

●和他实在太难相处了。

彼とは実に付き合いにくい(付き合えない)。

因みに、V-adj型を含む中国語の結果補語を勉強する際に、それを一つの全体として理解しなければ、いざ自ら応用しようとするときにつまづいてしまう可能性が十分あり得ることを、ここで注意しておきたい。なぜならば、結果補語の学習においては局部的な母語の対訳による学習法こそが有効であり、V-V型やV-adj型を理解するには構造の分析は役に立つかもしれないが、実際の応用においてはさほど効果のあるものだとは言い難いからである。

2. 前置詞補語

前稿の説明によれば、前置詞セットの補語と称すべき内容である。日本語を母語とする学習者が中国語における前置詞に関する内容を学習するとき、日本語の「名詞+助詞」という組み合わせを利用すれば、前置詞の誤脱を免れることができよう。さて、日本語の「名詞+助詞」の組み合わせに対応する中国語の「前置詞+名詞」の組み合わせの一部を示しておこう。

●2008年夏 <u>に</u> (発売)	在2008年夏天(发售)
●パソコン <u>で</u> (作業する)	用电脑(作业)
●中国 <u>で</u> (買う)	在中国(买)
●電車 <u>で</u> (向かう)	坐电车(前往)
●自転車 <u>で</u> (行動する)	骑自行车(行动)
●右 <u>へ</u> (曲がる)	往右(拐)
●彼 <u>より</u> (勤勉だ)	比他(认证努力)

- 大阪から(出発する) 从大阪(出发)
- 家から(遠くない) 离家(不远)
- 会議まで(あと30分) 离会议(还有30分钟)

なお、これらの組み合わせは日本語において通常、述語成分の前に現れるのに対し、中国語の場合は以上の一部が述語成分の前と後ろのどちらにも現れる。また、日本語の助詞と中国語の前置詞は、一対一の関係ではないことにも注意する必要がある。日本人学習者は前置詞との組み合わせを勉強する際に、常にこの二点を念頭に入れながら、個々の組み合わせを置く箇所及び対応する詞の差異を認識しておかなければならない。

A	主	B	述	C	時間	D	目	E	語気詞
			V	前置詞		名詞			

- 我居然将书包忘在了车站。
うっかり鞆を駅に置き忘れてしまった。
- 明天替我把这份资料转交给负责人。
明日私の代わりにこの資料を責任者に渡してほしい。
- 我每天从早上8点一直学习到傍晚6点。
私は毎日8時から夕方6時までずっと勉強している。

3. 数量詞補語

ここで数量詞補語と称している内容は、学者によっては数量目的語として分類される場合もある。補語であるか、目的語であるかは更なる検討を必要とするところではあるが、本稿は一般的な語順を提起するものであるため、ここでの論点としない。強調や構造上のバランスによる数量詞の前置を除けば⁴⁾、数量詞補語と呼ぶことには説明上何の支障もきたさないからである。むしろ、数量結果補語と呼んだほうが、述語成分の対象や目的地などを表す本来の目的語との位置関係をより分かりやすく説明することができよう。つまり、これらの数量を表す言葉は次の3つの場合のように、直接目的語の性質によって現れる箇所が変わってくるのである。

(1) 目的語が一般名詞の場合

A	主	B	述	C	時間	D	目	E	語気詞
			V			数量詞	一般名詞		

- 爸爸回家后总爱喝上1瓶啤酒。
お父さんはいつも帰宅後瓶ビールを1本空けることを楽しみにしている。
- 光这个月他都换了3辆新车了。
彼は今月だけで、もう3回も新しい車に換えた。

(2) 目的語が人称代名詞の場合

A	主	B	述	C	時間	D	目	E	語気詞
			V			(△)	人称代名詞	数量詞	

- 我到现在为止已经喊了他好几次了。
今まで何度も彼を呼んだ。

- 我等了他快1个小时了。
彼を待つてもうすぐ1時間になる。

(3) 目的語が具体的場所の場合(動詞の性質に関係する)

A	主	B	述	C	時間	D	目	E	語気詞
			接続性を持つ動詞			○	具体的な場所	○	
			結果性が目立つ動詞			×	具体的な場所	○	

- 我来日本7年了。(◎我来7年日本了。)
日本に来て7年になる。
- 他去过日本3次。(◎他去过3次日本。)
彼は日本に3回行ったことがある。
- 乐队抵达洛杉矶5天了。(×乐队抵达5天洛杉矶了。)
バンドがロスに到着して5日になる。
- 上司回大阪3个星期了。(×老板回3个星期大阪了。)
上司が大阪に戻って3週間になる。

4. 方向詞補語

前述のように、方向詞補語の全てが、述語成分に対して方向性を示すわけではない。述語成分の後部に現れる方向詞の本来持つ意味が希薄化し、意味の派生的な用法に用いられる場合がある。記述の便宜上、方向性を有する語を伴うことから、方向詞補語とする。本稿はこれらの方向詞が本義的なのか、或いは派生的なのかについて論じることよりも、方向詞を次のように二つのグループに分け、直接目的語及び時間助詞との位置関係を考慮し、説明することを試みる。述語成分の後部に現れる「来・去」を恣意的に①グループ、「上・下・進・出・回・过・起・开」を②グループと呼ぶ。ここで予め断わっておくが、以上の方向詞が補語成分なのか、述語成分なのかについて明確に区別しておかなければ、語順の理解に大いに支障をきたすこととなる。なぜならば、方向詞のルーツは、全て動詞だからである。以下の用例を参照されたい。

- 来中国(中国に来る) ⇨ 拿来报纸(新聞を持ってくる)
 - 上楼梯(階段を上る) ⇨ 走上楼梯(階段を歩いて上る)
 - 回大阪(大阪に戻る) ⇨ 跑回大阪(大阪に駆け戻る)
 - 开门(ドアを開ける) ⇨ 踢开门(ドアを蹴り開ける)
- さて、以上の内容を踏まえて、方向補語を細かく見ていこう。

(1) 単独の方向詞を用いて、且つ目的語が場所の場合

A	主	B	述	C	時間	D	目	E	語気詞
			V				場所	①	
			V	②(結果補語的)			場所		

- 老师进教室来了。(①)
先生が教室に入ってきた。
- 小李回上海去了。(①)
李さんは上海に戻った。
- 直升飞机平安地穿过了危险地域。(②)
ヘリコプターは無事危険地帯を通過した。
- 75岁的他终于成功地登上珠穆拉马的顶峰。(②)
75歳の彼がついにチョモランマ登頂に成功した。

(2) 単独の方向詞を用いて、且つ目的語が一般名詞または人称代名詞の場合

A	主	B	述	C	時間	D	目	E	語気詞
			V				一般名詞か人称	①	
			V	①OR②(結果補語的)			一般名詞か人称		

- 明天我带葡萄酒去。(一般名詞+①)
明日ワインを持っていくよ。
- 大家一直盼着你来。(人称代名詞+①)
みんなずっと首を長くして君を待っていた。
- 这次总公司派来了专家小组。(①+一般名詞)
今回本社は専門家チームを派遣させてきた。
- 好叫不叫地偏偏喊来了他。(①+人称代名詞)
よりによってあいつを呼んでくるとは。
- 叶氏姐妹在芬兰买下了一座农园。(②+一般名詞)
叶姉妹がフィンランドで農園を買い入れた。
- 我一眼就看上了小红。(②+人称代名詞)
紅ちゃんに一目惚れしちゃった。

以上の通りに、方向詞が一つの場合もあれば、次の場合のように①、②二つのグループのものが同時に一つの文に現れることもある。しかも、その場合常に②グループが先で、①グループが後続という順番である。

(3) 目的語が場所の場合

A	主	B	述	C	時間	D	目	E	語気詞
			V	②			場所	①	

- 山下の人一下子都跑上了山来。
麓にいた人たちが一斉に山に駆け登ってきた。
- 救灾队明天就要飞回日本去了。
救助隊は明日にも日本へ飛びたつ(帰国する)。

(4) 目的語が人称代名詞の場合(多くは)

A	主	B	述	C	時間	D	目	E	語気詞
			V				人称代名詞	②+①	

- 我们就在家等你过来。
(私達は)家であなたが来るのを待つわ。
- 先喊她出来吧。
とりあえず彼女を呼び出そう。
- 昨晚我一直等到他回来才安下心睡觉。
タベ私は彼が帰ってきたのを確認してからやっと安心して横になった。

(5) 目的語が一般名詞の場合(時間助詞や語気詞を伴う場合、ニュアンスの差が生じる)

A	主	B	述	C	時間	D	目	E	語気詞
			V	②			一般名詞	①	
			V	②+①			一般名詞		
			V				一般名詞	②+①	

- 从冰箱里拿出1瓶啤酒来...。
(臨場感:現在・過去の事柄を目の前に起こっているように記述するとき)冷蔵庫からビールを1本取り出し...
- 从冰箱里拿出来1瓶啤酒...。
(行動の完了を示す:結果補語的な用法とも言える)冷蔵庫からビールを1本取り出して、...
- 从冰箱里拿1瓶啤酒出来...。
(第二人称に向かって使用する場合:命令となる)
(相手に)冷蔵庫からビールを1本取り出してちょうだい。
ただし、以上は時間助詞や語気詞などを伴わない場合における差であり、時間助詞(了)或いは語気詞(了/吗/吧)などを付けることによって、その差はなくなる。この現象が生じる理由として、語気詞の文に関する統括力が時間助詞(つまり、一般的にアスペクト助詞類)のそれより大きいということが挙げられる。例えば、文末に「吗」を付けると、文全体が意味上包括され疑問文となるのである。ただし、アスペクトの「了」はあくまでも動詞そのものに作用するものと思われる。

このほか、目的語を伴わずに方向詞が複合している場合と、述語成分が形容詞である場合についても示しておく必要がある。

(6) 複合した方向詞を用いるもので、目的語がない場合/述語が形容詞である場合

A	主	B	述	C	時間	D	目	E	語気詞
			V			②+①	×		
			adj			②+①	×		

●小李从废墟中走了出来。

李さんが廃墟の中から歩いて来た。

●人们一个接一个地倒了下去。

人々が次から次へと倒れていった。

●博士摇摇晃晃地从实验室走(了)出来。

博士がふらふら歩いて実験室から出てきた。

●最近天突然又热了起来。

最近急にまた暑くなってきた。

●任何一个演员都不可能一直红下去。

どんな役者でも常に人気を保ち続けることは不可能だ。

以上、方向詞と述語成分との位置関係を中心に用例を挙げた。ただし、方向詞の意味が本意から離れ、派生的な意味を持つ表現もあるため、この点に関しては個々の対訳を覚えて理解する必要がある。ここではその説明を省略する。

三

この節では補語文のうち、述語成分と補足部分との間に構造助詞「得」を伴う、可能補語と状態補語の二種類について説明を行う。前述の通り、構造助詞は二つ以上の内容(フレーズ又は単文)を繋げるために用いられる接着剤である。つまり、「得」を伴う構造は第三節で述べた「得」が付かないパターンに比べて、述語成分と補語成分の緊密関係が劣ると言えよう。

1. 可能補語

第三節で述べた結果補語並びに(一部の)方向詞補語構造内に「得」を加えることで、ある結果または目標に達成できるという肯定的な可能表現が生まれる。その反面、「得」の代わりに「不」を挿入することで、それが達成できないという可能表現の否定形が成り立つ。特にこの「不」は否定を表す面においては、副詞のそれと一致するが、この箇所では「得」と相反する意味を持つ接着剤であると理解しなければならない。つまり、Bケース(図2)に入る副詞ではなく、接着剤「得」の相方であるといえる。

●我看得见30米之外的箭靶中心。(結果補語による例)

30m先の的の中心も見える。

●(这样的天气)明天还回得去中国吗?(单独方向詞の例)

(こんな天気で)明日中国に戻れるかな?

A	主	B	述		C	時間	D	目	E	語気詞
			V	得	結果補語 方向補語 の一部	×				
			V	(不)	①OR②	×		ALL		
			V		②	×		ALL	①	
			V		(②+①)	×		ALL		

●一下子飞得回杭州去就好了。

(複合の方向詞・目的語が場所の場合)

ひとつ飛びですぐ杭州に帰れたらいいのに。

●凭你喊得出她来吗?

(複合の方向詞・目的語が人称代名詞の場合)

お前が彼女を呼び出せるのか?

●你还说得出货来吗?

(複合の方向詞・目的語が一般名詞の場合)

まだ言い訳できるのか?

以上のほか、よく似た形で「動詞／形容詞+得／不得」「動詞／形容詞+得了／不了」「動詞+得起」「動詞+不起」といった結果補語や方向詞補語に由来しない形もあり、強い口語性を持つ。

●这个可碰不得。

これには絶対触っちゃいけない。

●这下谁也开心不了了。

こうなったら誰も楽しめないぞ。

●他可是个得罪不起人物呀!

彼は何があっても怒らせてはいけない人物だ。

ところで、中国語の場合、可能表現は、述語成分の後方から補足するという方法だけではなく、「能(能够)」「会」「可(可以)」といった助動詞を用いて述語成分の前方から修飾する方法も存在する。両者が同じ意味を表せる場合もあれば、ニュアンスの差が見られる場合もある。使用する際には注意を払わなければならない。文面の関係上、両者の区別の説明は割愛する。また、強調表現として、両者を同時に用いる場合もある。

●我一天就能看得完这书。

私は一日でこの本を読み終えることができる。

●他准能吃得那锅米饭。

彼はきつとあの釜のご飯を食べきってしまうことができるに違いない。

2. 状態補語

本内容の構造は、単に単文の範囲では説明が困難である。なぜならば、前述の単文及び複文の定義によれば、状態補語の内容は複文に関わっているからである。つまり、意味的に具体的な状態を表現するときに、フレーズを用いるものとそれ以上の単位(場合によっては単文に限らず、複文さえ出てくる)との二大別がある。本稿は単文を中心に論じるものではあるが、中国語補語の種々雑多なる類型を明示するために、あえてこの箇所においては複文に分類される状態補語に関わる用例も挙げることにする。

A	主	B	述	得	フレーズ 又は文
			V/adj		

● 风刮得很猛。

風が強く吹いている。

● 他都喝得不认识回家的路了。

彼は家に帰る道が分からなくなるくらいお酒を飲んだ。
因みに、状態補語構造に使用される接着剤のような役割を果たすものとして、「得」のほかに、「个」と「得个」の二つがある。

● 雨下个不停。

雨はやまずに降っている。

● (结果是) 弄得个竹篮打水一场空。

結局何一つ残らなかった。

四

本節では程度補語について述べる。文字通り、述語成分に対して「程度」という意味の補足をする。程度補語は意味による分類であり、構造助詞「得」を必要とする場合とそうでない場合が存在する。すなわち、程度補語は意味分類と形式分類の中間に属するものである(繰り返しになるが、本稿は分類の是非を論じるものでないことを改めてご理解いただきたい)。

1. 程度補語

まずは、「得」を伴うものについて触れておこう。たとえば、述語成分(形容詞／動詞)+得+(很／要命／慌／发慌)といったものがそれである。一種の状態の説明であるとも理解されるため、**状態補語の表を参照されたい**。

● (一到演讲) 我就紧张得要命。

(スピーチになると)いつも緊張してしかたがない。

● 最近我闷得慌。

最近、無性にくだらなく感じる。

次に、「得」を介さず程度の意味を補足するものを挙げよう。この類はさらに二タイプに分けることができる。

(1) 述語成分(形容詞／動詞)+极／透／死／坏

● 天已经完全黑透了。

もう完全に真っ暗闇となった。

● 这天可真是把人给热死了。

本当に死にそうなくらい暑くてたまらない。

これらは意味上程度を表していることには間違いないが、一種の結果補語として理解しても何の問題もない。即ち、このパターンのものは結果補語と似通っているからこそ、構造助詞の「得」を必要としないのである(**結果補語の表を参照**)。なお、品詞分類の難しさと同様に、

文法機能が二つ以上のグループにまたがるものもしくは見られる。従って、このようなものを過渡的なものと理解し、連続的に考える必要がある。

(2) 述語成分(多くは形容詞)+一些／一点儿／(一会儿)／一下

● 可不可以再把水放大一些。

水をもう少し強く出してくれる?

● 今天可能更热一点儿。

今日の方が少し暑いかもしれない。

● 请往右边挪一下。

右にちょっと動かしてください。

このパターンを日本語に訳して見れば、「ちょっと」「(もう)すこし」など程度の表現に当たるため、程度補語に分類されても納得する点もあるし、また、不確定な量も表すため数量詞としての理解も可能である(**目的語が一般名詞タイプの数量補語の表を参照**)。これが、数量詞補語のように構造助詞の「得」を要しない所以である。因みに、このタイプにおいては、述語成分が形容詞である場合、比較的な意味が付加されることが多い。

おわりに

日本語を母語とする中国語の勉学者は、語順をクリアするために局所的な母語の対訳による学習法が必要である。とりわけ単文においては、前稿と本稿の内容を合わせて、日本語の形容詞修飾及び、中国語における「名詞+助詞」の組み合わせの位置を、対照しながら認識していかなければならない。なお、以上の分類はあくまでも理解するためのものとしてであり、実際補語を応用しようとする際は、述語成分と補語成分を一つのまとまりとして認識することが肝要であろう。

参考資料

『現代汉语』高等教育出版社,1991.

『現代中国語文法総覧』劉月華,潘文娛,故韓著;片山博美,守屋宏則,平井和之訳,くろしお出版,1996.

注

- 1) 劉志偉, 日本人の中国語勉学に関する小考, バベルの図書館 12(2), 2008, pp.6-14.
- 2) 日中対照言語学会編,『中国語の補語』白帝社, 2006.
- 3) 影山太郎,『文法と語形成』ひつじ書房,1993, p.139
- 4) 「我啥都知道(私は何だって知っている)。」「我一个(苹果)也没吃(私は一つも食べていない)。』のような、全肯定或いは全否定の意味を表す文型を指す。これらは一種の強調表現と見なされ、中国語も日本語も同じ語順を有する。

(大学院人間・環境学研究科 歴史文化社会論講座 博士後期課程3年)

編集者注 著者は、これまでの中国語学校での指導経験から、日本人の中国語学習者にとって適切な学習法は、中国国内の中国語の文法用語体系とは別の体系であると考え、前稿に続き本稿において、日本語そのものの特徴を捉えたよりわかりやすい学習法を提案した。著者の研究テーマは「中世テニヲハ論」(日本語学)。

教員及び関係者寄贈図書

(2008年2月～2008年10月) ※敬称略・五十音順



ご寄贈いただき誠にありがとうございました。

寄贈者氏名	寄贈図書名	配置場所	請求記号
浅野 耕太	環境経済学講義：持続可能な発展をめざして / 諸宮徹, 浅野耕太, 森品寿著. -- 有斐閣, 2008.	図書館教員	519 K 158
阿辻 哲次 [12冊]	家族への手紙：謝冰心の文革 / 謝冰心著；萩野脩二共訳；牧野格子共訳. -- 関西大学出版部, 2008.	図書館開架	920.2 K 35
	時季(とき)のたまもの：季語35を解く / 関森勝夫著. -- 本阿弥書店, 2008.3.	図書館開架	911.3 T 5
	漢検過去問題集2級 / 日本漢字教育振興会編：日本漢字能力検定協会監修. -- 平成20年度版. -- 日本漢字能力検定協会, 2008. -- (250万人の漢検).	図書館開架	811.2 K 22
	漢検過去問題集1準1級 / 日本漢字教育振興会編. -- 平成18年度版, 平成19年度版, 平成20年度版. -- 日本漢字能力検定協会, 2006.	図書館開架	811.2 K 23
	市河寛斎 / 蔡毅, 西岡淳著. -- 研文出版, 2007. -- (日本漢詩人選集 / 富士川英郎 [ほか] 編；9).	図書館開架	919.5 I 1
伊従 勉	みやこの近代 / 丸山宏編. -- 思文閣出版, 2008.2.	図書館教員	216.2 M 9
上横手 雅敬(名誉教授)	鎌倉時代の権力と制度 / 上横手雅敬編. -- 思文閣出版, 2008.9.	図書館教員	210.4 K 41
岡 真理	Women in struggle：目線：パレスチナ占領・ジェンダー・人権を考える / WiSEC編. -- WiSEC, 2008.	図書館開架	367.2 W 6
岡田 敬司	Du r_tablissement de l'autonomie：autonomie individuelle, relation humaine et communaut_ / Keiji Okada. -- : pbk. -- Matrice, 2007.	図書館教員	361.4 O 5
小川 侃	Machiavelli e la fenomenologia / Tadashi Ogawa. -- Napoli, c2007.	図書館教員	311.2 O 1
	Interdisziplin_re Ph_nomenologie = Interdisciplinary phenomenology. 3	図書館南棟1	P I
	Interdisziplin_re Ph_nomenologie = Interdisciplinary phenomenology. 4	図書館南棟1	P I
	Le opere di Galileo Galilei / Giuseppe Saragat. -- G. Barb_ra Editore, 1968. v.1-17	図書館南棟	600 624
金坂 清則	京の道 / 金坂清則, 天野太郎監修. -- [国土交通省京都国道事務所]. -- 愛宕街道	図書館AV	216.2 K 40 6
	京の道 / 金坂清則, 天野太郎監修. -- [国土交通省京都国道事務所]. -- 愛宕街道	図書館教員	216.2 K 40 6
	もっと知りたい日本と世界のすがた / 宮町良広 [ほか] 著. -- 帝国書院, 2008.	図書館教員	290.1 M 9
	新編中学校社会科地図 / 帝国書院編集部編. -- 初訂版. -- 帝国書院, 2006.	図書館教員	375.3 S 8
倉石 一郎(卒業生)	差別と日常の経験社会学：解説する「私」の研究誌 / 倉石一郎著. -- 生活書院, 2007.12.	図書館教員	361.8 S 109
小山 静子	明治期中学教育史：山形中学校を中心に / 長岡安太郎著. -- 大明堂, 1991.10.	図書館開架	376.4 M 1
	「育つ・学ぶ」の社会史：「自叙伝」から / 太田素子 [ほか] 著；小山静子, 太田素子編. -- 藤原書店, 2008.	図書館教員	372.1 S 22
佐伯 啓思	日本の愛国心：序説的考察 / 佐伯啓思著. -- NTT出版, 2008.	図書館教員	154 N 2
	共同研究団塊の世代とは何か / 佐伯啓思 [ほか] 著 -- 講談社, 2008.	図書館教員	361.6 K 42
佐藤 義之	知を愛する者と疑う心：懐疑論八章 / 佐藤義之, 安部浩, 戸田剛文編. -- 見洋書房, 2008.	図書館教員	115.8 C 4
新宮 一成 [17冊]	劇的な精神分析入門 / 北山修 [著]. -- みすず書房, 2007.	図書館開架	146.1 G 5
	統合失調症の語りと傾聴：EBMからNBMへ / 加藤敏著. -- 金剛出版, 2005.10.	図書館開架	493.7 T 20
	「私の死」の謎：世界観の心理学で独我を超える / 渡辺恒夫著. -- ナカニシヤ出版, 2002.	図書館開架	141.9 W 2

寄贈者氏名	寄贈図書名	配置場所	請求記号
新宮 一成 [17冊]	知られざる森田療法：日仏交流の軌跡 / 岡本重慶著. -- 北樹出版, 2007.2.	図書館開架	493.7 S 89
	哲学はこんなふう / アンドレ・コント＝エスピノーザ著 ; 木田元, 小須田健, C.カンタン訳. -- 紀伊國屋書店, 2002.10.	図書館開架	104 T 32
須田 千里	日本文芸論稿 / 東北大学文芸談話会. -- 1967.8. 29,30	図書館書庫	P N
	稿本近代文学 / 筑波大学文芸・言語学系平岡研究室. 30	図書館書庫	P K
多賀 茂	アイデアと制度：ヨーロッパの知について / 多賀茂著. -- 名古屋大学出版会, 2008.	図書館教員	361.1 I 7
	医療環境を変える：「制度を使った精神療法」の実践と思想 / 多賀茂編 ; 三脇康生編. -- 京都大学学術出版会, 2008.	図書館教員	493.7 I 10
戸田 剛文	ハイラスとフィロソフスの三つの対話 / パークリ著 ; 戸田剛文訳 (岩波文庫 ; 青618-2). -- 岩波書店, 2008.4.	図書館教員	133.3 H 4
東郷 雄二	打たれ強くなるための読書術 / 東郷雄二著 (ちくま新書 ; 705). -- 筑摩書房, 2008.2.	図書館教員	019 U 2
中西 輝政	日本の「岐路」：自滅からの脱却は可能か / 中西輝政著. -- 文芸春秋, 2008.	図書館教員	304 N 28
	日本文明の興廃：いま岐路に立つ、この国 / 中西輝政著. -- PHP研究所, 2006.	図書館教員	304 N 29
	インテリジェンスの20世紀：情報史から見た国際政治 / 中西輝政, 小谷賢編著. -- 千倉書房, 2007.	図書館教員	391.6 I 3
	世界のインテリジェンス：21世紀の情報戦争を読む / 小谷賢編著 ; 落合浩太郎 [ほか]著. -- PHP研究所, 2007.	図書館教員	391.6 S 3
中村 治 (卒業生)	洛北八瀬 / 中村治著. -- 八瀬小学校創立130周年記念事業実行委員会, 2008.3.	図書館教員	216.2 R 5
西山 良平	皇太后の山寺：山科安祥寺の創建と古代山林寺院 / 上原真人編. -- 柳原出版, 2007.	図書館教員	188.5 K 18
丹羽 隆昭・前川 玲子	アメリカ民主主義の過去と現在：歴史からの問い / 紀平英作編著. -- ミネルヴァ書房, 2008.5.	図書館教員	253 A 82
服部 文昭	イメージのボルカ：スラブの視覚芸術 / 近藤昌夫 [ほか]著. -- 成文社, 2008.3.	図書館開架	702.3 I 9
船橋 新太郎	Representation and brain / S. Funahashi editor. -- Springer, 2007.	図書館教員	491.3 R 3
廣野 由美子	ギッシングを通して見る後期ヴィクトリア朝の社会と文化：生誕百五十年記念 / 松岡光治編. -- 溪水社, 2007.	図書館教員	930.2 G 22
	トマス・ハーディ全貌：日本ハーディ協会創立五〇周年記念論集 / 日本ハーディ協会編. -- 音羽書房鶴見書店, 2007.	図書館教員	930.2 T 25
前川 玲子	Human development report / UNDP. -- 1990-. 2007/2008	図書館南棟1	P H
	人間開発報告書 / UNDP(国連開発計画) [編]. 2007/2008	図書館書庫	P N
	年次報告書 / 国連開発計画. 2007	図書館書庫	P N 2007
松浦 茂	松本文庫目録：鹿児島大学附属図書館蔵 / 鹿児島大学附属図書館編. -- 鹿児島大学附属図書館, 1984.11.	図書館参考	029.9 M 16
	アジア史学論集 / 京都大学大学院人間・環境学研究科 松浦茂研究室 [編]. -- 2008.2. v. 1	図書館書庫	P A
松田 清	金沢大学所蔵近代教育掛図目録 / 松田清, 益満まを編. -- 印刷図編. -- 京都大学大学院人間・環境学研究科, 2008.3.	図書館教員	372.1 K 25
松村 圭一郎	所有と分配の人類学：エチオピア農村社会の土地と富をめぐる力学 / 松村圭一郎著. -- 世界思想社, 2008.2.	図書館教員	389.4 S 11
山田 篤美 (卒業生)	黄金郷(エルドラド)伝説：スペインとイギリスの探検帝国主義 / 山田篤美著. -- 中央公論新社, 2008. -- (中公新書 ; 1964).	図書館新書	中公新書 1964
渡辺 久義 (名誉教授)	進化のアイコン：破綻する進化論教育：生物教科書の絵は本物か? / ジョナサン・ウエルズ著 ; 創造デザイン学会訳. -- コスモトゥーン, 2007.	図書館教員	467.5 S 28
	意味に満ちた宇宙：芸術と科学が明らかにする自然の叡智 / ベンジャミン・ワイカー, ジョナサン・ウエルズ著 ; 原田正, 高木哲一, 渡辺久義訳. -- アートヴィレッジ, 2008.6.	図書館教員	112 I 1

※ 6冊以上ご寄贈の場合は、5冊まで掲載させていただいておりますのでご了承ください。

教員及び関係者図書コーナー(1F)

本研究科教員・関係者の著書を配架しています。

上梓されましたときはご惠贈くださいますよう
よろしく願いいたします



遡及入力事業について

機械化以前の蔵書目録をデータベース化する、遡及入力作業によって、現在当館では年間数万冊の図書が、KULINE上であたりに検索出来るようになっています。今後、思わぬ「お宝」図書が出てくる可能性もあり、ご期待ください。

平成19(2007)年度(2007.4-2008.3) 約30,950冊
平成20(2008)年度(2008.4-10月末現在) 約13,400冊

継続購入のお知らせ

- 岩波講座哲学 / 飯田隆 [ほか] 編. -- 岩波書店, 2008-. 全15巻(予定)
- 講座認知言語学のフロンティア / 山梨正明編. -- 研究社, 2007.11-全6巻(予定)
- 認知言語学論考 / 山梨正明他編. -- ひつじ書房, 2001.9-. No.5(2005)-
- 名著誕生. -- ポプラ社, 2007-. 全10巻(予定)
- 朝倉物理学選書 / 鈴木増雄, 荒船次郎, 和達三樹編. -- 朝倉書店, 2008.3-.全6巻(予定)
- 日本の「現代」 / 猪木武徳 [ほか] 編集. -- NTT出版, 2005.10.全18巻(予定)
- 現代語訳吾妻鏡 / 五味文彦, 本郷和人編. -- 吉川弘文館, 2007.11.全16巻(予定)

※平成20(2008年)年度より購入分の一部紹介です。

情報収集ワンポイント!

Q.被引用件数(citation counts)とは

論文を発表してからどれだけ引用されたかを表す被引用件数は、「過去の科学研究論文がある研究に対してどれだけ知的貢献をしているか」を示すもので、他の文献への影響力を計るものと考えられています*。研究業績評価の指標のひとつですが、引用の文脈が違ってても件数として計上されることや、分野を越えて比較できないことに注意が必要です。

学術論文の場合の被引用件数を調べるデータベースとしては、Web of ScienceやScopus等があります。データベースにより収録範囲等が異なるため、被引用件数も異なることがあります。日本語で書かれた論文の場合は、CiNiiで調べることができます。

自然科学系では論文検索だけではなく特許検索も必要な場合があります。特許の被引用検索のためには、Derwent Innovations IndexやScopusがあります(Web of ScienceやDerwent Innovations IndexはISI Web of Knowledgeの機能の一部)。

いずれも京都大学ではアクセス契約をしているので京都大学所属者は利用できます。詳細は、「学内電子リソース：データベース」(<http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/gakunaidb.html>)をご覧ください。

※学術文献用語(トムソン・ロイター)。

<http://thomsonscientific.jp/support/glossary/literature.shtml>



平成20年度 大型コレクション

資料名	内容
中国基本古籍庫(ネットワーク版)	先秦から民国時期までの歴代古典籍約1万種の全文データベースおよび底本となった原典の画像データベースから構成された古典籍データベース。全文検索と連動して底本画像の確認可。
The Making of Modern World(オンライン版)	ロンドン大学ゴールドスミス文庫とハーバード大学経営大学院クレス文庫の蔵書を原本とする経済学文献データベース。1460年代から1850年までの社会科学関係の書籍61,000点、および同年代創刊の定期刊行物 466点を収録。フルテキスト検索可。アクセスは学内から(http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/dbj/M.html)

※人間・環境学研究科から図書館機構に推薦したもののうち、導入決定分



平成20年度 特別図書

資料名・編著者(和訳名等)	内容
日清戦争写真帖, 陸地測量部, 海軍省撮影, 小川一眞発行兼印刷, 3冊 [明治28/29] 博文堂	陸地測量部、海軍省が撮影したものを最高レベルの小川一眞のもとでコロタイプ印刷して発行したもの。3冊揃本は珍しい。
Collection of Decisions of the European Commission of Human Rights / Recueil des Decisions de la Commission Europeenne des Droits de l'Homme. Reprint Bound. (欧州人権委員会決定集 第1シリーズ) No.1-46 (1960-1974). 2007, Schmidt Periodicals	1998年にその役割を終えた「欧州人権委員会」の1960年から1974年までの最初の決定集で、欧州人権裁判所に関する草創期の資料。欧州人権委員会の決定内容を参照することにより、当時の人権裁判所の判例研究ができる。
精神分析 戦前編, 大槻憲二主宰, 復刻版(全12巻+別冊1) [1933(昭89)・1941(昭16)] 不二出版	日本における黎明期の精神分析受容の歴史を映しだすもの。精神分析という当時の目新しい視点から社会の様相を論じる社会文化史研究の資料。
京都新聞, マイクロフィルム版, [1956(昭和31)・1960(昭和35)] 京都新聞社	京都大学所蔵の「京都新聞」原紙の欠損部分を漏れなくカバーしている戦後の京都研究資料。
戦後農村問題資料集, 笹川孝一解説, 復刻版, 第1号～第122号(全11巻) [1948(昭23)年4月・1959(昭34)年] 日本図書センター	戦後の日本における農村青年の学習・文化運動を明らかにするための基礎資料。
国際映画新聞, 東京近代美術館フィルムセンター監修, 復刻版, [第18巻(1932)・第36巻(1935)] ゆまに書房	戦前の映画界に大きな影響を与えた業界紙。同時期刊行の映画雑誌「キネマ旬報」に匹敵する重要文献。戦前映画ジャーナリズムの金字塔。現在第1巻～第36巻所蔵。
「改造」直筆原稿の研究, 紅野敏郎, 日高昭二編, 付録 DVD版 直筆原稿画像データベース, 全2巻+付録DVD, 2007, 雄松堂書店	雑誌「改造」に掲載された著名作家の直筆原稿7000枚の画像と雑誌の誌面を収録。幸田露伴・谷崎潤一郎・横光利一・井伏鱒二らの原稿の推敲過程もわかる。
The Civil Rights Movement and the Federal Government. (公民権運動と連邦政府: 司法省公民権局記録1958-1973年) 12 reels. 2008. Univ. Public. of America	アメリカの公民権運動と、それに対するアメリカ政府の対応を研究するうえで不可欠な資料。
ニーチェ研究基本資料 ・ニーチェ全集 CD-ROM版 ・ニーチェ研究誌, Journal of Nietzsche Studies. Nos.1-32 (1991-2006) Friedrich Nietzsche Society	「ニーチェ全集 CD-ROM」は、ニーチェの「全集」と未刊のテキストが電子化されて収録されたもの。"Journal of Nietzsche Studies" は、ニーチェ研究の国際専門誌であり、ニーチェ研究に不可欠の二次文献。
黄禍論史資料集成, Yellow Peril, Collection of Historical Sources. 編集・解説 橋本順光, 全5巻, 2008, Editorial Synapse	19世紀末から20世紀初頭に、英米をはじめとする英語圏の国々に影響を与えた「黄禍論」について論じた資料を集めたもの。
Secret and Confidential Correspondence of the Office of the Chief of Naval Operations and the Office of the Secretary of the Navy, 1919-1927. (1919-1927年の海軍作戦部長室および海軍長官室間の機密書簡集) 65 reels. 1975. National Archives and Records Administration	第一次大戦後のヴェルサイユおよびワシントン体制化において、米海軍上層部が海軍政策を立案するに当たって、いかなる国際情勢の認識をもっていたかを知るための必須の史料。

※人間・環境学研究科購入分。配架場所はKULINE表示場所

日本語文献を探すデータベース

—CiNii特集—

論文データベース

ある研究テーマについて、どんな先行研究があるかを調べるためのツールに論文データベースがあります。京都大学所属者は、図書館機構のデータベースリストから様々なデータベースを利用することができます。

<http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/gakunaiddb.html>



日本語文献を探すためのデータベース

京都大学で利用できるデータベースのなかには、日本語文献を探す際に役に立つものが多くあります。(各データベースは、上記 図書館機構のデータベースリスト からご利用ください。)

■ 雑誌記事索引(人社:1948- 科学:1975-)

国立国会図書館が収集している雑誌のうち、約1万誌についてその記事・論文をデータベース化したもの。CiNii、MAGAZINEPLUSからも利用可能。

■ CiNii: NII論文情報ナビゲータ

学協会誌や研究紀要の論文を検索することができ、一部は本文も閲覧可。「雑誌記事索引」も含む。

■ MAGAZINEPLUS(1945-)

「雑誌記事索引」ではカバーしきれない年報類・論文集・シンポジウム・学会年報なども収録。

■ 雑誌記事索引集成データベース(明治-)

明治初期から現在まで、総合雑誌など全国誌から、地方で発行された雑誌も対象。

■ 大宅壮一文庫雑誌記事索引(1988-)

「雑誌記事索引」には採録されていないような日本の一般大衆誌(週刊誌・総合誌・女性誌など)が中心。

■ 医中誌Web

医学中央雑誌のWeb版。国内発行の医学・医療関連定期刊行物約2,400誌より収集した医学文献情報を検索可。

■ LexisNexis JP

日本最大級の判例・法令検索データベース。

■ 日経BP記事検索サービス大学版

日経BP社が発行する雑誌の記事が検索でき、本文まで閲覧可。

■ 聞蔵II ビジュアル for Libraries (1945-)

1945年～1984年までの朝日新聞紙面を収録する戦後紙面データベースと、1984年以降の記事データベースが利用できる。最新記事もいち早く収録。

■ ヨミダス文書館(1986-)

読売新聞(1986.9-)とTHE DAILY YOMIURI(1989.9-)とが収録された新聞記事データベース。

収録分野・収録タイトル・収録年など、データベースごとに特徴があります。研究テーマや探している文献の種類に応じて、データベースを選択しましょう。

CiNii(サイニィ)とMAGAZINEPLUS(マガジンプラス)

日本語文献を探すデータベースの代表が「雑誌記事索引」(国立国会図書館作成、無料一般公開)です。

CiNii と MAGAZINEPLUS は、どちらも「雑誌記事索引」をベースにし、さらに独自の文献情報を採録しています。採録内容を比較してみると、その違いがよくわかります。

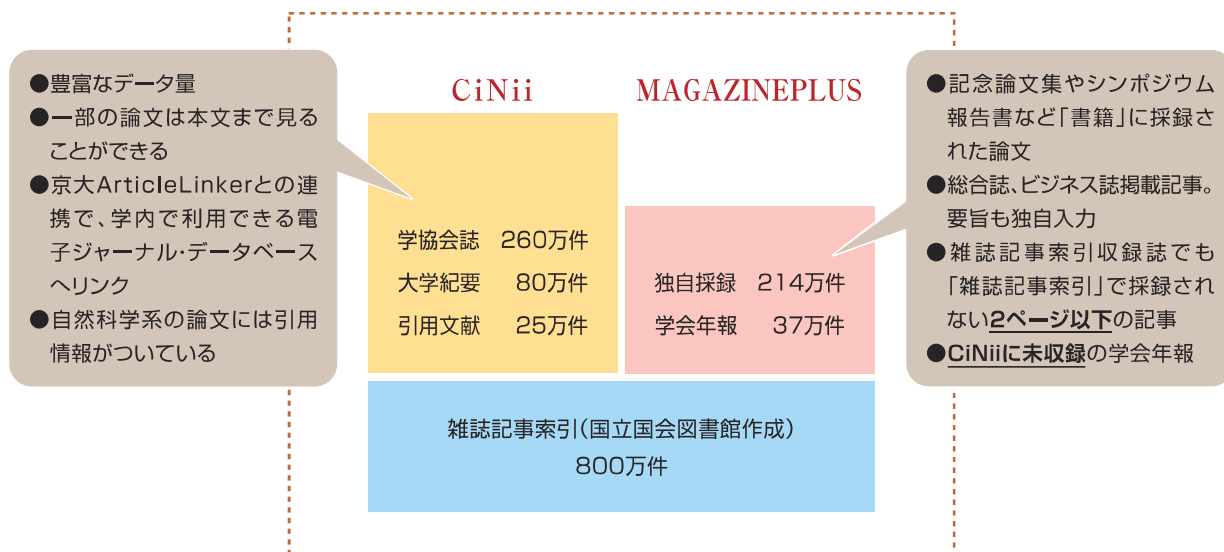
CiNii

「雑誌記事索引」を完全収録し、さらに国内の学協会誌・大学紀要掲載の論文が検索できます。京都大学所属者は、無料一般公開論文にあわせて、定額許諾公開論文も無料で見ることができます。また、**京都大学ArticleLinker**との連携で、電子ジャーナルへのリンク、**KULINE**検索連携、オンラインサービスによる学外からの文献取り寄せ申し込みができます。

MAGAZINEPLUS

CiNiiと同様に「雑誌記事索引」を完全収録したデータベースで、人間・環境学研究科が契約し、全学に提供しています。記念論文集やシンポジウム報告書などの「書籍」に掲載された論文や、ビジネス誌・企業紙誌の記事情報、CiNii未収録の学会年報など、CiNiiでは検索できない文献を独自採録しているのが特徴です。

CiNii と MAGAZINEPLUS : 収録データの比較



参考資料: 「MAGAZINEPLUS講習会資料」

http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/heslib/lecture/lecture_top.html

(日外アソシエーツ作成, 「パソコンで論文を手に入れよう! 其の2 (CiNii・MAGAZINEPLUSの使い方)」講習会, 2008.10.20人環・総人図書館開催)

学外(自宅など)からもCiNii、MAGAZINEPLUSは利用できるか?

CiNii は一般公開されているデータベースで、学外からも検索できますが、本文を利用できるのは「無料一般公開」のものだけです。MAGAZINEPLUSや、その他の学内で利用できるデータベースおよび電子ジャーナルを、自宅でも、学内と同じ条件で使いたい場合は、**KUINS-PPTP接続サービス** をご利用ください。

(KUINS-PPTP接続について <http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/er-remote.html>)

<CiNiiのコツ!①> CiNiiから本文を入手する

CiNiiの特徴の一つは、検索結果からのCiNii公開本文へのリンクです。
また、CiNii以外のデータベースで公開されている本文へもリンクしています。

CiNii → CiNii公開本文

検索結果に  が出てきたら、CiNiiで本文が公開されています。クリックすると本文がPDF形式で表示されます。印刷・ダウンロードもできます。

*一部、「有料公開」の論文があります。サイトライセンス個人IDがあれば、クレジット決済で本文を見ることができます。



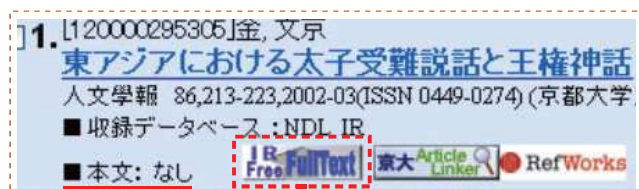
CiNii公開本文画面へ

(*  このアイコンからも本文へリンク)

CiNii → 機関リポジトリ公開本文

CiNii公開本文がない場合でも、本文へリンクするアイコンが出てくる場合があります。

検索結果に  が出てきたら機関リポジトリ(IR)公開本文へリンクしています。



機関リポジトリ(Institutional Repository=IR)とは?

その機関の研究成果(論文、紀要、報告書など)を、Web上で無料公開し、一般に広く利用してもらうシステムのことです。

京都大学では京都大学学術情報リポジトリ:「紅」(くれなゐ)で研究成果を公開しています。

(「紅」: <http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/>)



京都学機関リポジトリ「紅」(くれなゐ)で本文を見ることができます。

CiNii → メディカルオンライン公開本文

医中誌Web*のアイコンをクリックすると、論文要旨画面が出てきます。その画面にメディカルオンライン*のアイコンがあれば本文へリンクしています。

(* 医学部提供データベース)



<CiNiiのコツ!②> 京大 ArticleLinker (アールティクル・リンカー) との連携

CiNiiおよび機関リポジトリなどで公開されている本文が無い場合は、京都大学ArticleLinkerを使って、本文を探しましょう。

検索結果に本文リンクのアイコンが出てこなくても、あきらめず  をクリックします。

京大ArticleLinkerの便利な使い方をご紹介します。

京大 ArticleLinker の機能

1 電子ジャーナルへのリンク

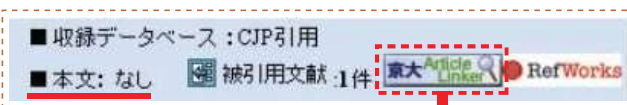
2 Google、オープンアクセス誌への検索連携

↓ 電子媒体で入手できない場合は…

3 KULINE 検索への連携

↓ 学内で入手できない場合は…

4 文献取り寄せ申込機能への連携



CiNii → ArticleLinker → 電子ジャーナル

学内で利用できる電子ジャーナルであれば、提供範囲等の情報が表示されます。リンクをたどって、電子ジャーナルで本文を見ることができます。

1. 京都大学で提供中の論文(PDF/HTML)をみる : Full-text via Online

契約・収録範囲
2000 - present

go to

presented by

Journal

Medical*Online

CiNii → ArticleLinker → Google, オープンアクセス誌

電子ジャーナルが利用できないものでも、無料で公開されている雑誌(オープンアクセス誌)や、著者のホームページで公開されている論文もあります。CiNiiの検索結果を使って、Googleなどを検索してみましょう。

2. フリーのフルテキスト(PDF/HTML)を探す : Search Free Full-text via Online

Search Google Scholar

By Article Title By 1st Author

Search OAlster (Free Articles)

By Article Title By 1st Author

Search Google

By Article Title By 1st Author

By Journal / Book Title

CiNii → ArticleLinker → KULINE検索

電子媒体で入手できない場合は、学内に、お探しの論文が掲載されている雑誌や本を持っている図書館室が無いかをKULINE(京大蔵書検索システム)で検索しましょう。

3. 京都大学の蔵書を探す : Search Kyoto University Libraries

Search KULINE (京都大学蔵書検索)

by ISSN/ISBN

By Journal / Book Title

CiNii → ArticleLinker → 文献取り寄せオンライン申込み

電子ジャーナルも冊子体の雑誌も無い場合は、学外から文献を取り寄せることができます。オンラインサービスの文献取り寄せ機能にリンクしており、CiNiiの論文情報が、文献取り寄せ申込み画面に埋め込まれます。

4. 文献の取り寄せを申し込む : Request This Article via ILL

京都大学に所蔵されていない文献を取り寄せる

申し込む (Submit)

いろいろなデータベースの間の橋渡しをするのが **ArticleLinker** です。
何度も別のデータベースに入って検索する手間が省けます。ぜひ使ってみてください!!



話せる図書館 環on



環on(人環棟1階)
の4つのエリア

人環・総人図書館西側の人環・総人図書館分室が、2008年4月7日、「環on(わおん)」としてリニューアル・オープンしました。本館の「静かな図書館」に対して、この「環on」は個人・グループでの学習や研究会での利用を目的とした「話せる図書館」です。図書館資料を議論の素材としたアカデミック・コミュニケーションを目的とするところに「環on」の存在意義があると考え、「創造と学習の場」をコンセプトとしています。

利用するには

- ・京都大学にご所属の方はどなたでもご利用できます。
- ・グループ学習室および時間外利用については、人環・総人の所属者のみです(上表)。

Q&A

Q) 環on(わおん)の名前の由来は?

「環」(カン)は、人々の「わ」であるとともに、創造・学習を「めぐり」「めぐらす」に通じる意味があります。「on」は、「先に向かって」「時が経過して」「活動の状態」です。「わおん」(環+on、環+音)は、ひとりひとりの持つ音(=感性や思考)が和の集合として、創り出す新しい響き(=創造への活動)でもあり、「環on(わおん)」は、「人と人とがつながり、環をなし、新しい活動が生まれることを期待する空間」です。

Q) 「話せる図書館」だそうです、話をしてもよいのですか?

発表の打ち合わせやディスカッション、一人で読書など自由にできます。

Q) 照明は暗くないでしょうか?

手元の資料を読むのに必要な明るさは設計されています。

Q) 飲食できるでしょうか?

飲食禁止です。蓋のできる容器(ペットボトル等)のような飲み物であればOKです。

Q) PCの貸出がありますか?

はい。PCの貸出1回に使用できる時間は90分です。使う人がいなければ1回だけ延長可能です。

Q) インターネットが使えますか?

貸出PCにLANカードが入っているので、学内のネットワークにつながります。学術情報メディアセンターのIDが必要です。自分の持ち込みPCの利用も可能です。電源は各席にあります。

Q) グループ学習室の使い方は?

人環・総人の所属者のみですが、90分利用可能です。1か月前から予約できますので、環onの常駐スタッフにお申し込みください。プロジェクターの貸出もしています。8席とソファがあります。

	人環・総人の方	他部局の方
開 室	月～金 9:00～17:00	
休 室 日	土・日曜日、休日、6/18、冬季休業期間、卒業式の翌日～4/3、8/11～20	
貸 出 機 器	パソコン、プロジェクター	パソコン
グループ学習室の利用(1室)	「グループ学習室利用申込書」の提出(受付:開室時間中、Staff)	(利用不可)
時間外利用	月～金 17:00～20:00	(利用不可)
	土 10:00～15:00	
	・「環on時間外利用申請書」を提出(受付:平日9:00-17:00、本館) ・利用申請者が学生の場合は利用責任者(人環教員)の自署必要	

環onについての掲載記事

2008年4月9日	京都新聞 夕刊
2008年4月16日	京都大学新聞
2008年5月	京大広報
2008年5月1日	日本経済新聞 夕刊
2008年5月12日	朝日新聞 朝刊
2008年6月	京都大学図書館機構報(静脩)
2008年7月5日	京大学生新聞

人環・総人図書館の一年間

		行事等	情報リテラシー支援	BOOK SELECTION
2008年	1月			★BOOK SELECTION 「図書館にはたくさん本があるけれど、何をを読んだらいいのかわからない」という意見から実現! 時節に応じて、テーマを設定した図書の展示を始めました。利用者のみなさんに協力いただいたアンケートからのセレクトもあります。ご興味のあるテーマがありましたら、ぜひ手にとってみてください。 もちろん借りることができます。
	2月	・研究室図書を受入(第2次)		
	3月	・環on改修工事完成 ・南棟書庫(吉田南総合館)完成①	 ①南棟書庫	
	4月	・環onオープン [4/7] ② ・環on利用規則施行 [4/17] ・第1回図書委員会 [4/10]	 ②環on	・"Library Guide 2008"発行[4/1] ・全学共通教育ガイダンス[4/2~4/7] ・Library Guide Tour[4/14~18] (55人)
	5月	・ホームページリニューアル③ ・環on OPEN記念講演会[5/9]④ ・研究室図書を受入(第3次)	・パソコンで本を探そう!京大蔵書検索KULINEの使い方(12人)[5/19~23]	・Book Selection:先輩から後輩へ/何を学ぶ? [5~6月]⑩
	6月	・メールニュース配信開始(教員向) ・第2回図書委員会[6/26]	・パソコンで論文を手に入れよう!其の1:電子ジャーナルとArticleLinkerの使い方(33人)[6/19~25]⑧	 ⑩先輩から後輩へ
	7月			・Book Selection:旅[7~9月]⑪
	8月	・環on利用時間拡大(環on 時間外利用の取扱い要項施行)[8/1] ・オープンキャンパス[8/8]	 ⑧パソコンで論文を手に入れよう!	 ⑪旅
	9月	・メールニュース配信開始(申込制)[9/3] ⑤ ・イギリス定期刊行物"British Periodicals"トライアル[9/3~10/16](*1)		・Book Selection:論文・レポートを書こう! [10~12月]⑫
	10月	・シニアキャンパス[10/1~3] ・第3回図書委員会[10/15] ・第4回図書委員会[10/23] ・経済学文献の歴史的コレクション"The Making of the Modern World"利用開始[10/20](*2)	・パソコンで論文を手に入れよう!其の2:(日本語論文編)CiniiとMAGAZINE-PLUSの使い方[10/20~22](56人)⑨	
	11月	・人間・環境学フォーラム(環on会場)[11/6](45人) ⑥ ・第5回図書委員会[11/20]	 ⑥人間・環境学フォーラム	 ⑫論文・レポートを書こう
	12月	・デジタルサイネージ(電子ポスター)設置[12/1] ・「かりん」(人環・総人図書館報)の創刊[12/15]		
2009年	1月			
	2月	・研究室図書を受入(第4次)〈予定〉	・パソコンで論文を手に入れよう!其の3:(英語論文編)〈予定〉	
	3月	・1階窓枠改修工事のため休館[2月中旬~3月]〈予定〉		

★メール・ニュース [Jinkan-Sojin LibNews] のお申込み ⑤

人環・総人図書館を利用する方ひとりひとりに、より迅速・確実な情報をお届けし、図書館を活用していただくためにメールによるニュースを提供しています。

●登録するには

本文に subscribe heslibml とだけ書いたメールを下記まで送信してください。件名 (subject) や 署名 (signature) などは不要です。

majordomo@kulib.kyoto-u.ac.jp

送信元メールアドレスに対し、「heslibml」に参加いただきありがとうございます。」といった加入された旨の英文メールが届きます。これで登録完了です。

★Library Newsletter (11月毎月発行)もご利用ください。

★情報リテラシー支援(ガイダンス・講習会)

春と秋を中心に、講習会を実施しました。蔵書検索システムKULINEによる図書の探し方などの初歩的なものから、電子ジャーナルや論文データベースの使い方など少し高度なものまで、様々な内容を用意しご好評をいただきました。当日の配布資料は当館Webサイトに掲載しています。日ごろ疑問に思われていることを解決するチャンスです。今後もみなさんのお役に立つ講習会を開催する予定ですので、どうぞご期待ください。()内人数は参加者数。

- *1:利用者からの要望により、人環・総人図書館でトライアルを企画。17世紀から20世紀初期のイギリスの定期刊行物を収録したデータベース。
*2:人間・環境学研究科から大型コレクションとして図書館機構に要望し、導入されたデータベース。中世から近代に至る経済学文献を中心とした社会科学関係の書籍・雑誌を収録。

貸出回数ランキング

期間：2008年4月1日～2008年9月30日

順位	貸出回数	簡略書誌情報
1	207	地球の歩き方 / 「地球の歩き方」編集室著作編集. -- A01 ヨーロッパ '07-'08 - E06 イラン・ペルシアの旅 '07-'08. -- 改訂. -- ダイアモンド・ビッグ社, 2006.
2	136	地球の歩き方 / 「地球の歩き方」編集室著作編集. -- A01 ヨーロッパ '08-'09 - E11 リビア '08-'09. -- 改訂. -- ダイアモンド・ビッグ社, 2007.
3	93	地球の歩き方 / 「地球の歩き方」編集室編集. -- A01 ヨーロッパ '06-'07 - E10 南アフリカ ジンバブエ レント スワジランド ナミビア ボツワナ ザンビア '06-'07. -- 改訂. -- ダイアモンド・ビッグ社.
4	57	地球の歩き方 / 「地球の歩き方」編集室編集. -- A01 ヨーロッパ '05-'06 - E06 イラン ペルシアの旅 '05-'06. -- 改訂. -- ダイアモンド・ビッグ社.
5	48	地球の歩き方 / 「地球の歩き方」編集室著作編集. -- A03 ロンドン '08-'09 - E11 リビア '08-'09. -- 改訂. -- ダイアモンド・ビッグ社, 2007.
6	37	TOEICテスト新・最強トリプル模試 : New Version対応の模試を3回分収録 / 中村紳一郎 [ほか] 著. -- [1], 2, 3 : 解答・解説編. -- ジャパンタイムズ, 2006.
7	36	上撰の旅. -- 1. 札幌・道東・道北 - 33. 沖縄. -- 昭文社, 1999-2001.
8	31	解析入門 / 杉浦光夫著. -- 1, 2. -- 東京大学出版会, 1980.3-1985.4. -- (基礎数学 ; 2-3).
8	31	アトキンス物理化学 / P.W.Atkins著 ; 千原秀昭, 中村亘男訳. -- 上, 下. -- 第6版. -- 東京化学同人, 2001.
10	28	混沌からの秩序 / I. プリゴジン, I. スタンジェール [著] ; 伏見康治, 伏見譲, 松枝秀明訳. -- みすず書房, 1987.
11	25	TOEICテスト新公式問題集 / Educational Testing Service著 ; 国際ビジネスコミュニケーション協会TOEIC運営委員会編. -- [Vol. 1], Vol. 2. -- 国際ビジネスコミュニケーション協会TOEIC運営委員会, 2005.
12	24	詳解微積分演習 / 福田安蔵 [ほか] 共編 ; 鈴木七緒編集者代表. -- 1, 2. -- 共立出版, 1960-1963. -- (大学課程数学演習シリーズ ; 2, 3).
13	23	はじめてのTOEFLテスト完全対策 : すべてのセクションに対応 / 松谷偉弘, Robert Hilke, Paul Wadden著. -- 旺文社, 2006. -- (TOEFL iBT大戦略シリーズ).
14	19	無機定性分析実験 / 京都大学総合人間学部自然環境学科物質環境論講座編. -- 共立出版, 1994.11.
15	18	ハリー・ポッターと謎のプリンス / J. K. ローリング作 ; 松岡佑子訳. -- : セット, 上, 下. -- 静山社, 2006.
15	18	英語ヒアリング集中レッスン : 今日からは始める3週間完成 / 深沢俊昭 [ほか] 共著. -- 基礎編, 実践編. -- アルク, 1999.1.
15	18	ねじまき鳥クロニクル / 村上春樹著. -- 第1部 : 泥棒かささぎ編, 第2部 : 予言する鳥編, 第3部 : 鳥刺し男編. -- 新潮社, 1997.10. -- (新潮文庫 ; む・5-11～む・5-13).
15	18	有機化学 / John McMurry著 ; 伊東椒 [ほか] 訳. -- 上, 中, 下. -- 第6版. -- 東京化学同人, 2005.3.
19	17	TOEFLテストリスニング問題350 / 喜田慶文著. -- 改訂新版. -- 旺文社, 2006. -- (TOEFL iBT大戦略シリーズ).
19	17	解析演習 / 杉浦光夫 [ほか] 著. -- 東京大学出版会, 1989.11. -- (基礎数学 ; 7).
19	17	力学 / ファインマン, レイトン, サンズ [著] ; 坪井忠二訳. -- : 新装. -- 岩波書店, 1986. -- (ファインマン物理学 / ファインマン, レイトン, サンズ [著] ; 1).
19	17	TOEICテストスーパートレーニング / 木村哲也 [ほか] 著. -- 文法・語法・正誤問題編・基礎文法編. -- 研究社出版, 1999.7-.
19	17	グリム童話集 : 完訳 / グリム [著] ; 金田鬼一訳. -- 1 - 5. -- 改版. -- 岩波書店, 1979.7-1979.11. -- (岩波文庫 ; 赤-413-1・5, 32-413-1・5, 赤(32)-413-1, 2, 3, 4, 5).

平成20(2008)年度上半期の貸出回数の多い順、第1位から5位は、『地球の歩き方』でした(物理単位ではなく書誌単位)。今年度初めて実施した企画“BOOK SELECTION”の夏は、“旅”をテーマにし、1階中央で展示・貸出を行ったため、その相乗効果もあったと考えられます。このほか、理工系の基礎科学の図書や語学図書が多く利用されています。全学共通教育を支援する図書館ならではの特徴です。

学生購入希望資料の申込み

利用したい資料が図書館にないとき、購入希望を出すことができます。人環・総人所属の方、全学共通科目履修生が申込みできます。図書館備え付けの用紙にご記入の上、お申込みください。購入の可否は後日掲示します。なお、1人で複数件お申込みされる場合は、受付を保留することがあります。



自動貸出機

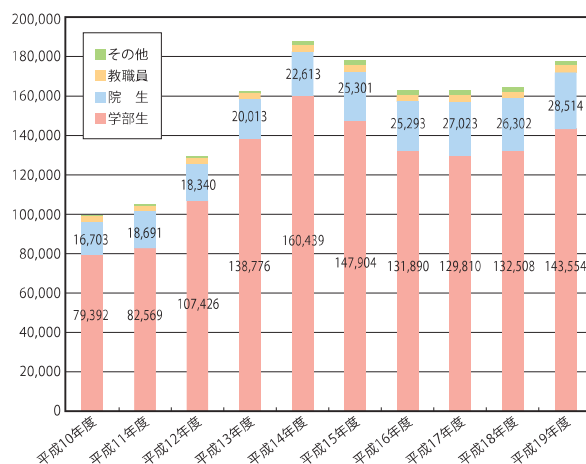
図書館統計

蔵書冊数 (平成20年3月末現在)	利用対象者数 (平成20年5月1日現在)	
585,241冊	全学共通教育学生(1・2回生)	5,940人
(和書) 313,200冊	総合人間学部学生	575人
(洋書) 272,041冊	人間環境学研究科学生	712人
	教職員	272人

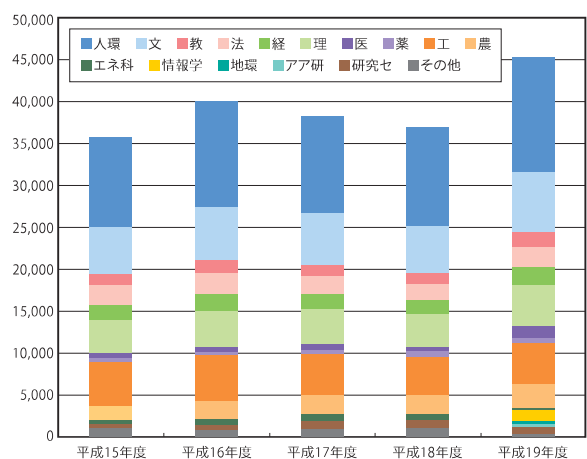
平成19(2007)年度 入館・貸出

	入館者数	貸出冊数
学部生	143,554人	43,317冊 (59.3%)
院 生	28,514人	24,706冊 (33.8%)
教職員	4,134人	4,361冊 (6%)
その他	1,672人	685冊 (0.9%)
計	177,874人	73,069冊* (100%)

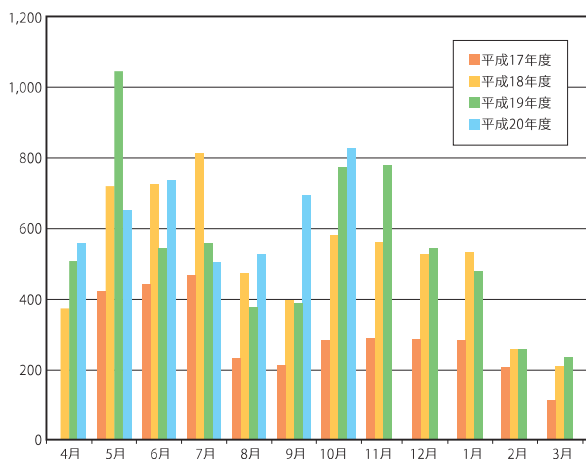
	貸出人数	貸出冊数 (合計*に対する割合)
学部生のうち全学共通 教育学生(1・2回生)	15,150人	22,677冊 (31%)



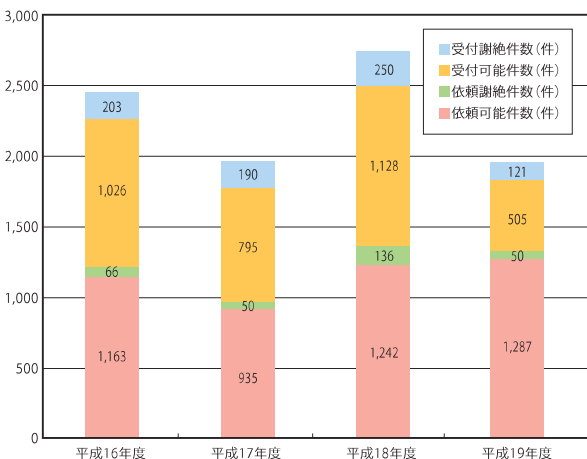
入館者数の推移
(平成10年度～平成19年度)



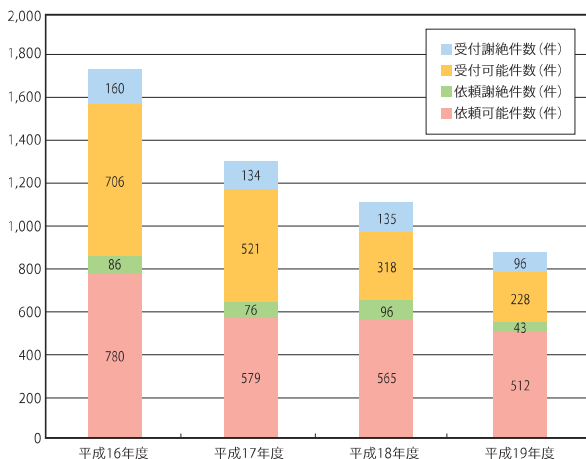
部局別貸出人数の推移
(平成15年度～平成19年度)



MAGAZINEPLUS検索回数
(平成17年5月～平成20年10月)



文献複写処理件数の推移
(平成16年度～平成19年度)



現物貸借処理件数の推移
(平成16年度～平成19年度)

京都大学学術情報リポジトリ 紅(KURENAI)

京都大学学術情報リポジトリ(Kyoto University Research Information Repository: KURENAI)は、京都大学内で生産された知的生産物(学術雑誌掲載論文、学位論文、プレプリント、科学研究費報告書、COEプログラム研究成果、講義資料・教材、学会発表資料などの学術情報)を電子的に蓄積し、誰もが無料で読めるようにWeb上で公開するものです。

公開した研究成果は、Google Scholar等のサーチエンジンを通して世界中から検索可能となり、より多くの研究者の目にふれ、研究活動の視認性を格段に高めます。ある調査によると、無料オンライン公開された論文は、そうでない論文に比べて多くの研究者の目に触れるため、5.6倍多く引用されるという統計結果が報告されています(物理学分野)*。

人間・環境学研究科からは、個々の学術雑誌に掲載した論文(Journal Articles)、名誉教授の論文の他、『言語科学論集(Papers in Linguistic Science)』がすでにリポジトリで公開されています。今後発行予定の『紀要』、学位論文、本誌『かりん』も公開される予定です。

詳細は、京都大学学術情報リポジトリ KURENAI (<http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/>) をご覧ください。

Q.リポジトリ登録しようとする論文記事が、既に他の学術雑誌に掲載されている場合、どうなりますか？

A.学術雑誌に掲載された論文は、多くの場合、Copyright Transfer契約や投稿規程で出版社に著作権が譲渡されています。

SHERPA/RoMEO Project によれば、Elsevier, Springer, Blackwellなど大手出版社を含む94%の学術雑誌は論文を機関のサーバから無料で公開することを認めていますので、その場合は改めて許諾を得ることなく、登録することができます。ただし多くの場合、出版社がレイアウトした出版社版ファイルの登録は認めていないため、著者の手元にある著者最終版ファイルを登録することになります。学会や出版社が著作権を持つ場合で、論文を機関のサーバから無料で公開することを認めていない場合は、学会や出版社から許諾を得るために交渉することになります。

細かい許諾条件等、出版社に関する権利処理については附属図書館で確認します。

* Stevan Harnad. Comparing the Impact of Open Access(OA) vs. Non-OA Articles in the Same Journals. D-Lib Magazine, v.10, no.6(June 2004)



「かりん:京都大学人環・総人図書館報」

【表紙】「ヘルツェル社製 直観式語学教育用掛図 第1シリーズ 春」発行元:ウィーン, Ed. ヘルツェル. 発行年:1885年. (Hölzel's Wandbilder für den Anschauungs- und Sprach-Unterricht. Wien, Ed. Hölzel, 1885.) 人環・総人図書館所蔵。

近代教育掛図の高精細電子画像は、「京都大学電子図書館 貴重資料画像」で公開

URL http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/exhibit/kekezu/list/list_1-01.html

【声】利用者の皆様からの図書館への思いや意見のコーナーです。

【論文・レポートのために】 論文・レポート作成のために知ってほしいことや参考になる情報を、指導される教員の方々にご執筆いただきます。論文のテーマ設定、情報収集、先行文献の読み方、文章の書き方、引用、お薦めの図書・資料・情報、便利ツールなど、長年の豊富な経験に基づいた有用な情報が盛りだくさんです。細部では専門分野により異なる点がありますが、共通する点もあり論文執筆のヒントになります。

【自著を語る】 教員の方々の著作物について、著者本人でなければわからない発行前と後の情報をご執筆いただきます。執筆のきっかけや思い、発行後の反響、進展や波及状況、今後の予定、関連図書等について語っていただきます。表紙の画像は出版社の許可を得て掲載しています。

【投稿】 利用者の皆様からの投稿のページです。図書や図書館に関する情報、勉学に役立つ有用な情報等を発表する場です。今回は、前誌『バベルの図書館』12(2)の記事の続編です。

※『かりん』の創刊に伴い、『バベルの図書館』は終刊いたしました。1996年7月から2008年3月の第23号まで長らく愛読いただき、ありがとうございました。『かりん』は『バベルの図書館』の雰囲気や特色を生かしつつ、今まで以上に、人環・総人図書館を理解し活用していただくための情報をご提供いたします。



京都大学人間・環境学研究科総合人間学部図書館（人環・総人図書館）

Library of the Graduate School of Human and Environmental Studies and
the Faculty of Integrated Human Studies (Jinkan-Soujin Library), Kyoto University



<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/heslib/>

京都大学大学院人間・環境学研究科及び総合人間学部と人環・総人図書館の歴史

- 明治 2(1869)年 5月 舎密局開校式
- 明治27(1894)年 6月 第三高等学校発足
- 明治30(1897)年 京都帝国大学設置、「第三高等学校図書館」竣工
- 昭和24(1949)年 第三高等学校、京都大学へ吸収
「京都大学分校図書室」設置
- 昭和29(1954)年 「分校」が「教養部」へ改められる(学内措置)
この頃「教養部図書室」設置
- 昭和48(1973)年 3月 「教養部図書館」竣工(現在の図書館)
- 平成 3(1991)年 4月 独立研究科として、大学院人間・環境学研究科設置
「人間・環境学研究科図書室」設置
- 平成 3(1991)年 7月 大学設置基準改正により、「一般教育科目」と「専門科目」の区分の廃止可能
- 平成 4(1992)年 10月1日 総合人間学部設置
「教養部図書館」改め「総合人間学部図書館」
- 平成15(2003)年 4月1日 大学院人間・環境学研究科及び総合人間学部の改組・統合
「総合人間学部図書館」と「人間・環境学研究科図書室」を
「人間・環境学研究科総合人間学部図書館」(「分室」を含む)に統合
- 平成20(2008)年 4月 「人間・環境学研究科総合人間学部図書館分室」を廃止し、「環on」開室



旧「教養部図書室」右後方は書庫

かりん：京都大学人間・環境学研究科 総合人間学部図書館報 創刊号

発行 2008年12月15日(年1回)

編集・発行 京都大学人間・環境学研究科総合人間学部図書館
〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町
TEL: 075-753-6524, 6525
FAX: 075-753-6896
E-mail: eturan61@mail.adm.kyoto-u.ac.jp

